## 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T対応 NAS RAID装置

# **N-RAID 4300C** Series Reference Manual



#### ご注意

- 本製品と本書は、ヤノ販売株式会社の著作物です。弊社の著作物の一部または全部を、弊社に無断で複製、複写、転載、改変することは、法律で禁止されています。
- 2) 本製品と本書は、改良のため内容を予告せずに変更する場合があります。
- 3)本製品は、法律で定める戦略物資等輸出規制製品に該当する場合がありますので、本製品の輸出あるいは国外への持ち出しにはご留意ください。
- 4)本製品は、日本国内でご利用いただくように設計、製作されています。国外でのご使用に関しては、弊社は責任を負いかねます。国外へのサポート、アフターサービスはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 5)本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、弊社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。
- 6)本書をバックアップし、ご自分で保有される場合に限って、一部のみ複写できます。
- 7)本製品のソースコードをお客様に開示し、ご使用を許諾することはありません。 本ソフトウェア製品の解析、逆アッセンブル、逆コンパイル、またはリバースエ ンジニアリングを禁止しております。
- 8)本書に記載のない、あるいは本書に記載された内容と異なる操作によって生じた、どのような事故、損害に関しても、弊社では責任を負いかねます。
- 9)本製品は、医療など人命にかかわる機器、航空機、原子力、輸送など高い信頼性や 安全性を必要とする設備や機器としての使用、あるいはこれらの機器や設備に 組み込んでの使用されることは考慮しておりません。このようなご利用によっ て生じた、どのような事故、損害に関しても、弊社では責任を負いかねます。
- 本製品および本書の内容について、ご不審な点やお気付きの点がございました
   ら、弊社カスタマーサポートまでご一報くださいますようお願い申し上げます。

# 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応 NAS BAID 装置 **N-RAID 4300C**リファレンスマニュアル

#### はじめに

このたびは、弊社製NAS RAID装置 N-RAID 4300C をお買い上げいただき ありがとうございます。N-RAID 4300C は、これ1台でファイル共有を行う ことができるNAS (Network Attached Storage) システムです。 このマニュアルを読んで N-RAID 4300C の設定を行ってください。なお、 このマニュアルでは、一部を除き「N-RAID 4300C | のことを「本製品 | また は「サーバー」と記述しています。macOSを搭載したコンピューターを総称 して「Mac」、Windowsを搭載したコンピューターを総称して「Windows」と 記述しています。また、Webブラウザーから呼び出してお使いいただける 本製品の管理ソフトのことを「Admin 画面」と記述しています。このマニュ アルに記載されている画面上の表示等は、お使いのコンピューターのシス テムの設定やバージョンによって、見え方が異なる場合があります。

マニュアルの本文中の記号について				
▲ 注意	作業上、非常に大切なことを説明しています。注意事項を守らない と、重大なトラブルが発生し、データが失われる恐れがあります。			
	作業にあたって気にとめていただきたいことを説明しています。 作業の参考にしてください。			

# 安全にお使いいただくために

ケガや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読み ください。

▲警	告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電 などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因と なります。
<u>入</u> 注	意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその 他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害 を与えたりする恐れがあります。





本製品を使用する際は、ご使用のコンピューターや周辺機器メー カーが指示している警告、注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。 火災や感電、故障の原因となります。また、故障時の保証対象外となり ます。



本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの 異物を入れないでください。 そのまま使用すると、火災や感雷、故障の原因となります。



本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届か ないところに配置/保管してください。

触ってけがをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐 れがあります。



火災や感電、故障の原因となりますので、AC100V(50/60Hz)以 外のコンセントを使用しないでください。



本製品付属以外のケーブルを使用しないでください。

3





ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意して ください。 ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。 傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電の原因となります。



電源ケーブル(ACアダプター)を壁やラック(棚)などの間には さみ込んだり、極端に折り曲げたりしないでください。



電源ケーブル(ACアダプター)を抜く時は、必ずプラグを持って 抜いてください。



水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やコンピューター本体 を使用しないでください。 火災や感電、故障の原因となります。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ド アノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除 いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損さ せる恐れがあります。



風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の 上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。 通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。





本製品やコンピューター本体から煙が出たり異臭がした時は、直ち に電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そ のあとご購入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

#### 注 意

本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってくだ さい。

強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。



必要なデータはバックアップしてください。 本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に 関わらず、データの保証は一切いたしかねます。



本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。 機器の故障やデータ損傷の原因となります。

本製品やコンピューター本体を次のようなところで使用、保管をし ないでください。

- ・不安定な場所
- ・振動のある場所
- ・高温/ 多湿な場所
- ・衝撃のある場所
- ·傾斜面
- ・たばこの煙

- ・ホコリの多い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・水気の多い場所(台所、浴室など)
- ・強い磁気の発生する場所
- ・暖房器具の近く
- ・
   飲食物の
   が
   ら
- ・腐食性ガス雰囲気中
   ・静電気の影響を受けやすい場所

本製品の稼働中に電源ケーブルや、接続ケーブルなどを抜かないで ください。

機器の故障やデータ損傷の原因となります。

本製品のコネクター部分には触れないでください。 故障の原因となります。

本製品や付属物の上に物を置かないでください。 傷がついたり、故障の原因となります。



本製品を移動する時は、電源をOFFにしてからACアダプターもし くは電源ケーブルを取り外してください。 機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本体が熱い時はさわらないでください。 本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意く ださい。



本製品が結露した状態で使用しないでください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇す ると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の 原因となります。再度使用する場合は、時間をおいて結露がなくなって からご使用ください。

本製品を廃棄もしくは譲渡する際は、以下の内容にご注意ください。 ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全 に消去されません。特殊なソフトウェアなどを使用して、データを復元、 再利用される可能性があります。 情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービス をご利用いただくことをお勧めいたします。 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってくたさい。条例の 内容については、各地方自治体にご確認ください。

# 目 次

はじめに	
安全にお使いいただくために	
Chapter 1 メイン画面	
1.管理画面へログインする	
2.管理画面 (メイン画面)	
メイン画面	
背景タスク	
個人用設定	
Chapter 2 コントロールパネル	
1.システム	
一般設定	
ネットワーク	
セキュリティ	
接続	
通知	
電源	

	ログ	
	メンテナンス	
2	.ストレージ	42
	概要	42
	ディスク	43
	プール	44
	ボリューム	45
	仮想ボリューム	46
	ブロックストレージ	47
	ハイブリッドSSDキャッシュ	49

パフォーマンスの調整	
VVoL Database	
3.ファイル共有	
ユーザー	
グループ	
ドメインセキュリティ	
フォルダ	
4.ネットワークサービス	61
サービスバインド	61
ファイルサービス	
Bonjour	
TimeMachine	

### Chapter 3 アプリ

1.ファイルマネージャー	74
一般事項	
マウント/接続	
共有リンク	77
2.バックアップ	78
スナップショット	
リモートバックアップ	
クラウドバックアップ	
X-Mirror	
USBバックアップ	
ログ	
3.モニター	
リソース	
ハードウェア	

目次

サービス	
ネットワーク	
4.メディアライブラリ管理	
メディアライブラリ	
ログ	
5.VPNサーバー	
概要	
設定	
アカウント	
接続リスト	
ログ	
6.ウィルス対策	
概要	
ホワイトリスト	
検疫	
スケジュール	
レポート	
詳細設定	
ログ	
7.SQLサーバー	
一般設定	
8.ウェブサーバー	110
仮想ホスト	
PHP	
カスタマーサポートとWebサイトのご案内	

# Chapter 4 サポートとサービスのご案内

2	1
4	





# 管理画面へログインする

本製品の各種設定を操作するには、管理画面へログインする必要があります。 Webブラウザのアドレス欄に本製品をIPアドレスを入力してログイン画面を表示して、 初期のユーザー名とパスワードを入力してボタンをクリックすると、管理画面にログイ ンします。



1	ユーザー名(初期:admin)を入力します。
2	パスワード(初期:1234)を入力します。
3	このボタンをクリックするとログインします。



正常にログインできない場合は、Webブラウザを再起動するかキャッシュを消去してください。



ログイン画面が表示されない場合は、添付DVDのアプリ「Finder」からの検索をお試しください。



### メイン画面

システムの再起動やログアウトなどの基本的な機能や、詳細設定を行う「コントロールパネル」を呼び出すことができます。

1)o				
NAS のパージョン情報				890028
コントロールパネル				
チュートリアル	5			
再起動	6			
シャットダウン			-4h	
	ファイルマネージャー	パックアップ	£=4-	
		M		
		<b>W</b>		
				\
				/
			• • • •	

1	メニューボタン
2	NASのシステム名、バージョン情報を表示します。
3	コントロールパネルを表示します。
4	アプリのリストを表示します。
(5)	初期セットアップウィザードを表示します。
6	システムを再起動します。
7	システムをシャットダウンします
8	実行中・実行済みのタスクを表示します。
9	通知センターを表示します。
(10)	アプリや設定の検索を行います。(英語のみ)
11	ログインしているユーザーの個人設定またはログアウトを行います。
(12)	表示言語を設定します。(初期:自動検出)
(13)	システムモニターや使用状況を表示します。
(14)	設定やアプリのショートカットです。
(15)	設定やアプリのドックです。

管理画面(メイン画面)

## 背景タスク

バックアップタスクやファイルマネージャーを使ったコピー、RAIDの再構築など、さま ざまなタスクの進捗状況をまとめて確認できます。



1	完了したタスクの記録を全て削除します。
2	失敗したタスクの記録を全て削除します。
3	表示するタスクのアプリケーションを選択します。
4	タスクの実行されたファイルの場所へ移動します。

# 個人用設定

ログインしているユーザーまたは管理者の設定を変更できます。



1	ログインしているユーザーのパスワードを変更します。
2	ログインしているユーザー画面の壁紙を変更します。
3	ログインしているユーザーのごみ箱を設定します。

Chapter 1



# システム

·般設定

Chapter 2

システム 日付と時刻 管理	
システム システム名 STORAGE	
管理者パスワード ・・・・・・ パスワードの変更 2	
<ul> <li>③</li> <li>✓ ブブーを有効にする</li></ul>	
システムで異常が発生した際に會で勧告するよう設定できます。 テスト 5	
システム識別	
フロントパネルのステータスランプを点演させてデバイスを識別します・	
適用	

- ① システム名を入力します。(初期:STORAGE)
- 管理者パスワードを変更します。
- チェックを入れるとブザーが有効になります。
- ブザーが鳴るストレージの使用率を設定します。
- ⑤ ブザーの音を確認します。
- 本製品が複数台ある場合に、ステータスランプを点滅させてこの個体を判別で 6 きます。
- (7) この画面で設定した内容を適用します。



トラブルを早期に発見するため、通常はブザーをONに設定してください。



管理者のパスワードを忘れた場合、本体背面のリセットホールを使用してデータごとリセットす るしかありません。パスワードは必ず忘れないように管理してください。

システム

#### 日付と時刻

日付と時刻の設定		
システムの現在の日付と時刻	日曜日, September 18 2022 11:42:33 AM	
タイムゾーン	(UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokvo	
時間設定		
<ul> <li>日付と時刻を自動設定</li> </ul>	pool.ntp.org v NTPサーバーを選択または入力してください	
<ul> <li>日付と時刻を手動設定</li> </ul>	(3)	
時間	▲ 11 · : 42 · : 25 · AM · 0	
日付		
		Ē
		٩

- ① タイムゾーンを選択します。
- ② 日付と時刻の手動・自動設定を選択します。
- ③ 参照するNTPサーバーを選択または入力します。
- ④ 手動で日時を選択します。
- ⑤ この画面で設定した内容を適用します。



データバックアップの際に日時が大きくずれると、さまざまなトラブルが発生します。



環境によってNTPサーバーを参照できないことがあります。その場合は手動を選択してください。

Chapter 2

#### 管理

し」自動ログアウト 5分・	~ (2)	
画面を操作していないユーザーは	、一定の時間が経つと自動的にログアウトします。	
3) あまロガインの禁止		
\$7++>>+=1+0+##501	ロビノンは教育に十年。	
ET NOV FILL DO BRI COM	17178H9089	
Web管理サービス		
Web管理用の通信プロトコルを選択し		
HTTP & HTTPS		
Web管理サービスのポート番号を変更	します・	
4 HTTP ポート番号	13080 (初期ポート番号:13080)	
HTTPS ポート番号	13443 (初期ポート番号:13443)	
External Device Management		
USBデバイスの接続を禁止		
5)		

- ① システムを自動ログアウトする場合にチェックをつけます。
- システムを自動ログアウトするまでの時間を選択します。
- ③ 多重ログインを禁止する場合にチェックをつけます。
- ④ Webブラウザでアクセスするプロトコルやポート番号を選択・入力します。
- ⑤ 外付けUBSデバイスの接続を禁止する場合にチェックをつけます。
- ⑥ この画面で設定した内容を適用します。



「多重ログインの禁止」をONにすると、同じアカウントで複数の環境から同時にログインできな くなります。



「多重ログインの禁止」をONにした状態で、ログアウトせずにWebブラウザを閉じてしまうと、 NASを再起動するまでログインできません。

# ネットワーク

インターフェイス

インター:	フェイス						2
リンク	インターフ	ジャンボフレーム	VLAN	IP アドレス	ゲートウェイ	速度	MAC アドレ
٠	LAN1 (1 GbE)	1500	0	10.00	10.000	1 Gbps	00:13:78:D6:
•	LAN2 (1 GbE)	1500	0	10,000 (00)	100,000,000	1 Gbps	00:13:78:D6:
IPv4 デフォ ェイ DNS 設定 システムカ ④ DNS サ	+ルトゲートウ (ドメインを検索す ーバーのアドレス	LAN1 るために、DNS(ドメイ を自動取得	<ul> <li>3</li> <li>(2x-24)</li> </ul>	) -ビス)サーバーのアドレ	スを割り当てます。		
IPv4 デフォ ェイ DNS 設定 システムか O DNS サ つ DNS サ プライ	rルトゲートウ パドメインを検索す ーパーのアドレス ーパーのアドレス	LAN1 るために、DNS(ドメイ を自動取得 を手動設定 172.16.2.1	~ (3) (>\$-4#-	) -ビス) サーバーのアドレ	スを割り当てます。		

1	リンクアグリゲーションを設定します。
2	ネットワーク設定を編集します。
3	デフォルトゲートウェイを選択します。
4	DNS設定を選択・入力します。
(5)	この画面で設定した内容を適用します。



リンクアグリゲーションの仕様についてはネットワーク管理者へお問い合わせください。



#### IPv6

-	インターフェー	Configuration	IPv6 アドレス	スピード	プレフィック	ゲートウェイ
	LAN1 LAN2	Auto		Down		
プラ・ セカ	イマリ DNS ンダリ DNS					

IPv6を有効にする場合にチェックを入れて、適用ボタンをクリックします。
 ネットワーク設定を編集します。
 デフォルトゲートウェイを選択します。
 DNS設定を選択・入力します。
 この画面で設定した内容を適用します。

#### ルーティング

			_		~ ~
Pv4 静的ルー I	•				(2) (3)
IPv4 静的ルー	トの追加 (1)				編集 削除
ID	保存先	サブメットマスク	ゲートウェイ	メトリック	インターフェイス
1	10,000,000	In the lot of	The second second	10	LAN1
ID	保存先	サブメットマスク	ゲートウェイ	メトリック	インターフェイス
1	10.00	1.0.0	100.000	0	LAN1
2	100 0000	10.00	100.000	0	LAN1
3	THE REPORT	100.000.000.0	10 10 10 10 10 10	10	LAN1
Pv6 静的ルー I	×				<b>(5) (6)</b>
IPv6静的ルー	トの追加 (4)				編集 別除
ID	保存先	サブメットマスク	ゲートウェイ	メトリック	インターフェイス
1	100 000 0000	100.000.000.0	100 0.000	10	LAN1
Pv4 ルーティン	ッグテーブル				
ID	保存先	サブメットマスク	ゲートウェイ	メトリック	インターフェイス
1	10.00	1.1.1	1000000	0	LAN1
					(

1	IPV4静的ルートを追加します。
2	IPV4静的ルートを編集します。
3	IPV4静的ルートを削除します。
4	IPV6静的ルートを追加します。
(5)	IPV6静的ルートを編集します。
6	IPV6静的ルートを削除します。
7	この画面で設定した内容を適用します。

#### 詳細設定

● 第ジールは、ホストとシステム整のネットワーク(2) 把握する手動けにない(3)・ ● 9 ● ● アアドレス ● ● A ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	Ping / Traceroute			
Prog<         P7 F レス         PA         単純         単数           (5)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)         (1)         (1)	10.断ツールは、ホストとシステム	▲闇のネットワーク「●●」把握する手助けにない。		
	Ping VIPアドレス	IPv4	~	開始
	(5)			
() ーブパック ) ルーブパックを預めにする (ARANI v IP 7 ドレス ARP ARP ARP ARP ARP ARP ARP ARP				
6) <sup>- プパック</sup> 6) ループパックを預防にする LAN1				
() <sup></sup> 7/1×9 () A7/1×9を預約にする (AMI) ARP ARP ARP ARP () 107 ドレス () 10 () 1				
	シーブパック			
CANI         IP 7 FUX         日本           APP         APP         日本	B)			
LANI         マ         IP アドレス         日本           ARP         ARP         日本	リーブパック			
DANI         レアメレス         (0)           ARP         (1)         (1)           ARP         (1)         (1)           ARP         (1)         (1)           AP         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           AP         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)           (1)         (1)         (1)	レープパック マループバックを有効にする			
APP         100 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>				
ARP AR9 AR9 ● いス類数プロトコル)は、IP アドレスをMAC アドレスにマッピングする類に使用します。 単一 ① すべて ○ IP アドレス P アドレス	B マープパック マーループパックを有効にする LAN1 マ	IP7KLZ		
ARP ARPO_VLX服装プロトコル)は・IP アドレスを MAC アドレスにマッピングする間に使用します・ 単一の すべて ○ IP アドレス III - IIII - IIII - III - IIII - IIIII - IIII - IIIII - IIII - IIIII - IIIII - IIII - IIII - IIIII - IIII - IIIII - IIII - IIIII - IIII - IIII - IIII - IIII - IIIII - IIIII - IIII - IIII - IIII - IIII - IIII - IIIII - IIII - IIIII - IIIII - IIIII - IIIII - IIIIII	♥ ● ループパック ● ループパックを有効にする LAN1 ◆	1P7 Fb2		
ABP ひていス酸ガロトコル)は・IP アドレスを MAC アドレスにマッピングF る闇に信用します・  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	IP7862		
AND ① ドレスを取って コンク) ボ・ドン ア レスを MAD ア ドレス に マッピング 予 6回に登用します・ 単作 ① ア べて ① IP ア ドレス	シープパック シープパックを有効にする LAN1 ~ ARP	1P7 FL2 8		
▲弁●● デイて ○ IP アドレス 更新 キャンセル IP アドレス MAC アドレス インターフェイス LAN1 LAN1	6 <sup>1</sup> -ブパック 6 ルーブパックを有効にする LAN1 ~ ARP	IP7822 (8)		
条件 10 アイズ 0 IPファレス マジーフェイス 20 IPファレス AMGファレス インシーフェイス 20 20 LANT LANT LANT	・ ーブパック ・ レーブパックを有効にする LAN1 ・ ARP ARP (Kレス解決プロトコル) (1)	IP 7 ドレス 8 メ・IP 7 ドレスを MAC 7 ドレスにマッピングする語	に使用します。	10 (1)
Р7 КV2 МАС 7 КV2 425-7242 2 ЦАМ ЦАМ	() - ブバック () ルーブバックを有効にする LAN1 ↓ ARP () ペレス解決プロトコル) ()	IP 7 ドレス 8 ト・IP 7 ドレスを MAC 7 ドレスにマッピングする景	に使用します。	0_0_
Φ > Γ μ λ         MO > Γ μ λ         4 > b = -2 ± 4 λ           2         LAN1         LAN1	り、-ブパック ● ルーブパックを有効にする LAN1 ~ ARP ARP ● ドレス酸決プロトコル) 0 条件 ● すべて ○ IP7	197 ドレス 8. 197 ドレスを MAC 7 ドレスにマッピングする語	に使用します。	
	N-ブバック ● ルーブバックを有効にする LANI ARP ARP ● ドレス類法プロトコル) ft 条件 ● すべて ○ IP 7	IP 7 КUX 8	に使用します。	10 夏新 ・ キャンセル
LANT	トーブパック ) ルーブパックを有効にする LAN1 本部9 ジレス類法プロトコル): 本部9 ジレス類法プロトコル): 第件 ● すべて ○ IP 7 IP 7 ドレス	IР 7 КU х В к · IP 7 КU х E MAC 7 КU х IC 4 • 65 × 65 KU х MAC 7 КU х	に使用します・	10 夏新 キャンセル
LANI	0-ブバック 0 ループバックを有効にする LAN1 ARP ARP 8件 ● すべて ○ IPア IPアドレス	IP アドレス 8 ドレア アドレスE MAC アドレスにマッピングする器 ドレス MAC アドレス	に使用します。 インターフェイス	<b>10 11</b> 更新 年ャンセル
LANI	() ーブパック () ルーブパックを判効にする (AM1) ∨ ARP () キレス酸決プロトコル)1 条件 () チベて () IP 7 () P 7 IVス	IP 7 ドレス 8 9 ア ドレス E MAC 7 ドレスにマッピングする ドレス MAC 7 ドレス	に使用します。 インターフェイス LAN1	10 夏新) (ネャンセル)
	<ul> <li>() ーブパックを対応にする</li> <li>() ルーブパックを対応にする</li> <li>() AN1 ∨</li> <li>ARP</li> <li>() ス部決プロトコル)()</li> <li>条件</li> <li>() エイエ ○ IP7</li> <li>() アイレス</li> <li>() アイレス</li> </ul>	IP 7 KL2 8 - IP 7 KL2 E MAC 7 KL2 (СтубУ) Ф 8 KL2 MAC 7 KL2 МАС 7 KL2 КСТУБУ ССТУБУ СС	に使用します・ インターフェイス LANI	10 夏新) (キャンセル)
LAN1 C	<ul> <li>() ーブパックを再効にする</li> <li>() ルーブパックを再効にする</li> <li>() ARP</li> <li>() ARP</li> <li>() ドレス想法プロトコル)()</li> <li>() ディて ○ IP 7</li> <li>() アアドレス</li> <li>() () () () () () () () () () () () () (</li></ul>	IP 7 ドレス 名 ドレア ドレス É MAG 7 ドレスにマッピングする ドレス MAG 7 ドレス	に登用します・ インターフェイス LAN1 LAN1	<ul> <li>①</li> <li>①</li> <li>Art&gt;セル</li> </ul>

1	PingまたはTrancerouteを選択します。
2	宛先のIPアドレスを入力します。
3	IPv4または/IPv6を選択します。
4	PingまたはTrancerouteを開始します。
(5)	PingまたはTrancerouteの結果を表示します。
6	ループバックを有効にする場合にチェックを入れます。
1	ループバックのネットワークインターフェイスを選択します。
8	ループバックのIPアドレスを選択します。
9	ARPの条件についてIPアドレスで指定する・しないを選択します。
10	ARPを更新します。
1	ARPを中止します。
(12)	ARPの結果を表示します。
(13)	この画面で設定した内容を適用します。

# セキュリティ

#### アクセス制御

クライアントのIPを指定して、本製品へのアクセスを制御できます。

アクセス制御	ファイアウォール 接続リスト SSL 証明書 SED 認証	
クセス制御		
15 J Z h		
アドレスまたはネットワークドメインを管理して	「、この NAS との接続を許可できます。	
+ 2		3 🖻
タイプ	IP アドレスまたはネットワークドメイン	
シングル IP アドレス	172.16.12.212	
		(4)

1	アクセス制御のポリシーを選択します。
2	リストを新規追加します。
3	既存のリストを削除します。
4	この画面で設定した内容を適用します。

#### ファイアーウォール

特定IPからのアクセスによってサービスが指定回数失敗した場合、指定時間そのIPをブ ロックします。

サービス	実行失敗		サービスの時間範囲		IP ブロック時間制限	
AFP(548)	5 🗉	~	5分	~	30 分	_
CIFS(445)	5 🖸	~	5 分	~	30 分	
FTP(21)	5 🖸	~	5 分	~	30 分	
HTTP(13080)	5 🖸	~	5 分	~	30 分	
HTTPS(13443)	5 🖸	~	5分	~	30 分	
Rsync(873)	5 🖾	~	5分	~	30 分	
SFTP(22)	5 🖾	~	5分	~	30分	
SSH(2222)	5 🖾	~	5分	~	30 分	
WEBDAV(50000)	5 🖂	~	5分	~	30分	
WEBDAVS(50005)	5 🖻	~	5分	~	30分	
$\bigcirc$	(2)		(3)		(4)	

1	ファイアーウォールの対象にするサービスにチェックをつけます。
2	実行失敗回数を選択します。
3	サービスの時間範囲を選択します。
4	IPブロックする時間を入力します。
(5)	この画面で設定した内容を適用します。

#### 接続リスト

本製品に接続しているユーザーを指定して、切断・ブロックできます。

	446 4	4、ユーサー名の検	*	- 4 - 5		NET DIS:
1	IP 7 FUX	デバイス名	接続タイプ	094.28	ロクイン時間	アクセスリソー
admin	100 100 100 100	10000	AFP	2022/9/18 日曜日	11:44:02	Administration
admin	The second second	And the second second	HTTP	2022/9/18 日曜日	11:37:19	Administration
nimbe	The second se	10000	HTTP	2022/9/16 金曜日	10:40:46	Administration

1	ダッシュボードに表示する場合にチェックをつけます。
2	ファイルサービスを選択します。
3	検索したいユーザー名を入力します。
4	指定ユーザーを切断します。
(5)	指定ユーザーをブロックします。
6	現在接続されているユーザーリストを表示します。

#### SSL証明書

34.日期間     ①     ②       スーラス: プライホートやでもすりティビ語を見用     日期意のダウンロード     プライホートモーのダウンロー       35.日期間やく認ったが、またはドリアービスの50.50.日期は登場する際に使用されます。近期目をインボートした後、変化物理をあられて20.50.20.20.20.20.20.20.20.20.20.20.20.20.20		アクセス制御 ファイアウ:	ォール 接続リスト	SSL 証明書	SED 認証
ステータス: プフォルトのセキュリティ証明を使用	SSL 証明書			(1)	(2)
SSU 互明欄に、ウエブ・メール、またはTPサービスの SQU 接触を確認する際に使用されます。近明書をインボートした後、覚情機能を求めらけ TSQU 装飾者のインボート ③ 正明書のビンダート ③ 正明書のごしくないと、SSU 接触場面の ログインに失敗します、セキュリティで係溢された証明書をデフォルトにして開售を解決します。 デフォルトの証明書とプライベートキーの優元 ④	ステータス: デフォルトのセキ	ュリティ証明を使用	E	E明書のダウンロー!	プライベートキーのダウンロー
<ul> <li>         ・取用曲のインダート ③</li> <li>         ・取用曲の正しくないと、SSL 単純細曲のログインに失敗します・セキュリティで保護された証明書をデフォルトにして問題を超決します・         ・         アフォルトの証明書とプライベートキーの優元         <ul> <li></li></ul></li></ul>	SSL 証明書は、ウェブ、メール に SSL 接続を使用する際の管理	、または FTP サービスの SSL 接 豊者 ID を持つことができます。	続を確保する際に使用	されます・証明書を	インボートした後、寶格情報を求めら;
互切通が互いくないと、SSL 登板道曲の ログインに失敗します。 デフォルトの互切通とプライベートキーの確元 ④	証明書のインポート 3	)			
(デフォルトの証明書とブライベートキーの演元)	証明書が正しくないと、SSL接	。 R続経由の ログインに失敗します	・セキュリティで保護	された証明書をデフ	ォルトにして問題を解決します。
	デフォルトの証明書とプライ	ベートキーの復元			
	ノノオルドの証明書とノノハ				

- ① 現在の証明書をダウンロードします。
   ② 現在のプライベートキーをダウンロードします。
   ③ 証明書を本製品にインポートします。
- ④ 証明書とプライベートキーを初期状態に復元します。



#### SED認証

	75X7 3ED 808	I.	
SED パスワードの入力	b		
120-F	2 人力してください	(	
パスワードの確認	<ol> <li>入力してください</li> </ol>		
自動ロック解除	<b>4</b> <sup>●</sup> <sup>角</sup> <sup>→</sup> <sup>無</sup> <sup>→</sup> <sup>→</sup>		
		キャンセル	###2

- ① SED 認証を有効にする場合にチェックをつけます。
- ② 認証に必要なパスワードを入力します。
- ③ 再度パスワードを入力します。
- ④ 自動アンロックの有無を選択します。
- ⑤ この画面で設定した内容を適用します。



SED対応HDD搭載モデルは2022年10月時点で販売しておりません。

# 接続

Chapter 2

#### DDNS

NS サービスを有効にす	DDNS	UPHP	
	する		
OS (動的DNSサービス) は	t、ホスト名を IP アドレスにマップして、・	インターネット経由で NAS を接続可能にし	,ます。
NS プロバイダ	ChangelP.com 🗸 💙	接続テスト 6	
スト名	3		
ーザー名/メール	4		
スワード/キー	5		
			-

1	DDNSサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
2	DDNSプロバイダーを入力します。
3	ホスト名を入力します。
4	ユーザー名/メールを入力します。
(5)	パスワード./キーを入力します。
6	接続テストする場合にこのボタンをクリックします。
7	この画面で設定した内容を適用します。

28

システム

#### UPnP



- ① UPnPサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
- ② UPnPルーターをスキャンします。
- 更新間隔を選択します。
- ④ UPnPサービスのリストが表示されます。
- ⑤ この画面で設定した内容を適用します。



UPnPを使用するには、別途UPnPルーターが必要です。

# 通知

,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
Syslog #-/<- IP		C			
UDP ポート	514	3			
デバイス	ユーザー	<b>4</b>			
直知ログ					
lyslog サーバーに転送	するログのタイプを選	RL#+ (5)			
🗸 システムログ	<ul> <li>接続ログ</li> </ul>	□ アプリケーション	D7		
✓ 債報	() 情報	() 情報			
○ エラー	○ エラ-	○ エラー			
✓ 警告	○ 警告	<ul> <li>警告</li> </ul>			

- ① Syslogサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
- ② SyslogサーバーのIPアドレスを入力します。
- ③ UDPポート番号を入力します。
- デバイスを選択します。
- ⑤ Syslogサーバーに転送する通知ログの種類を選択します。
- ⑥ この画面で設定した内容を適用します。

メール

システムイベントログの情報を、ここで設定した送信先メールアドレスに通知できます。

		Syslog メール S	SNMP	
送信元アドレスの設定				
メールアカウントの選択		~ 1		
SMTP サーバー		2		
セキュリティタイプ		~ <u>3</u>		
メールアドレス	mailman@STORAGE.	20m (4)		
アカウント		5		
ペスワード		6		
テストメールの送信	D			
送信先アドレスの設定				
		きます。		
異なるメールアドレスに送信	するログのタイプを選択で			
裏なるメールアドレスに送信 送信先アドレスの追加	はするログのタイプを選択で 8			<b>9</b> IIIR
異なるメールアドレスに送信 送信先アドレスの追加 主:アプリケーションログの	1するログのタイプを選択で 8 9 電子メール通知を受信する	には、 <u>あなたは通知センターに</u> す。	表示されるアプリケーションノー	9 期除 トに選択することがありま
異なるメールアドレスに送信 送信先アドレスの追加 注:アプリケーションログの 送信先アドレス	はするログのタイプを選択で 8) 電子メール通知を受信する	には、 <u>あなたは通知センターに</u> す。 システム	- 東示されるアプリケーションノー 接続	<ul> <li>9 用除</li> <li>トに選択することがありま</li> <li>アプリケーション</li> </ul>
異なるメールアドレスに送信 遂信先アドレスの追加 ( 注:アプリケーションログの 送信先アドレス	はするログのタイプを選択で 8 9 電子メール通知を受信する	には、 <u>あなたは通知センターに</u> す。 システム	「表示されるアプリケーションノー 投続	(9) 用除 トに選択することがありま アプリケーション
異なるメールアドレスに送機 該信先アドレスの追加 注:アプリケーションログの 送信先アドレス	はするログのタイプを選択で 8 )電子メール通知を受信する	には、 <u>あなたは</u> 通知センターに す ・ システム	- 表示されるアプリケーションノー -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -	9 別除 トに選択することがありま アプリケーション
異なるメールアドレスに送偿 送信先アドレスの追加 ( 注:アプリケーションログの 送信先アドレス	はするログのタイプを選択で 8 電子メール通知を受信する	には、 <u>あなた</u> 広場知センターに す。 システム	:表示されるアプリケーション <i>) -</i> 接続	<ol> <li>         ・トに選択することがありま         ・アプリケーション         ・         ・         ・</li></ol>

1	送信元アドレスのメールアカウントの週類を選択します。
2	送信元アドレスのSMTPサーバーを入力します。
3	送信元アドレスのセキュリティタイプを選択します。
4	送信元メールアドレスを入力します。
(5)	送信元アドレスセキュリティ用アカウントを入力します。
6	送信元アドレスセキュリティ用パスワードを入力します。
7	テストメールを送信します。
8	送信先アドレスを追加します。
9	送信先アドレスを削除します。
10	この画面で設定した内容を適用します。

Chapter 2

#### SNMP

NMP サービスを有効にし	て、SNMP 経由でネット	ワークにシステム	ログを送信します。	
↓ SNMP サービスを有効に	こする			
ポート番号	162		े (2)	
SNMP トラップアドレ	z1			
SNMP トラップアドレ	Z 2		(3)	
SNMP トラップアドレ	23			
SNMP パージョン	v3		~ <b>(4</b> )	
Protocol	MD5		- <u>5</u>	
Username			6	
Password			$\overline{\mathbf{O}}$	
8 Enable encryption				
Encryption protoco	DES DES		<ul><li>(9)</li></ul>	
Encryption passwo	ord		10	
コミュニティ	public		(Ī)	
通知を受けるログを選	択します。			
12 Jaran	<ul> <li>接続ログ</li> </ul>	() アプリケ・	ーションログ	
✓ 債報	□ 情報	○ 情報		
○ エラー	○ エラー	○ エラー		
✓ 警告	○ 磬告	○ 警告		
			12	

1	SNMPサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
2	ポート番号を入力します。
3	SNMPトラップのIPアドレスを入力します。
4	SNMPのバージョンを選択します。
(5)	プロトコルを選択します。
6	ユーザー (アカウント)名を入力します。
7	パスワードを入力します。
8	暗号化を有効にする場合にチェックをつけます。
9	暗号化のプロトコルを選択します。
10	暗号化のパスワードを入力します。
11	コミュニティ名を入力します。
(12)	通知を受けるログを選択します。
(13)	SNMPの情報管理ベース(MIB)をダウンロードします。
(14)	この画面で設定した内容を適用します。

# システム

# 電源

管理



1	電力・温度に異常が発生した時に自動シャットダウンする場合はチェックをつ けます。
2	Wake On LANを有効にする場合にチェックをつけます。
3	ハードディスクのスタンバイを有効にする場合にチェックをつけます。
4	スタンバイまでの待機時間を選択します。
(5)	電源供給が復旧した際の動作を選択します。
6	この画面で設定した内容を適用します。

#### UPS

#### 外部UPSの設定を行います。

電磁 USB V ① パケリー語(N) 00 2 シャットタウンまでの市の時間 (グ) シャットオウンはでの市の時間 (グ) 00 4 ステータス Unable to detect UPS: 6 パンサリー活躍(N) (0%) 6	UPS	
パウテリー通知 シャットダウンすがクラリー シャットダウンすがの行り手リー シャットダウンすが行う時時時間 シャットダウン UPS ステーラス Unable to detect UPS: (クッテリー 摂圏(h) (0%) (6)	種類	USB ~ (1)
シャットダウンするパッテリー 20 3 3 5 ペットダウンまでの存ち時間 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	パッテリー通知	80 ~ (2)
ジェーショクショナの内容 時間 (例) ジャットダウン UPS ステータス Unable to detect UPS (例) メッテリー 搭欄(%) (例) (例) (例) (例) (例) (例) (例) (例	シャットダウンするバッテリー 補册(%)	20 ~ 3
シャットダウン UPS ON マ ステータス Unable to detect UPS. 6 バッテリー発展(%) (0%) 6	シャットダウンまでの待ち時間 (約)	
ステータス Unable to detect UPS. <u>(5)</u> パッテリー発展(%) (9%) (6)	シャットダウン UPS	ON V
パッテリー残闌(5) (95) (6)	ステータス	Unable to detect UPS. 5
	パッテリー残量(%)	(0%)

- ① UPSのインターフェイスを選択します。
- ② バッテリー稼働通知までの待機時間(秒)を選択します。
- ③ シャットダウンするバッテリー残量(%)を選択します。
- ④ シャットダウン遅延時間を入力します。
- ⑤ UPSの接続状況または稼働状況を表示します。
- ⑥ 現在のUPSのバッテリー残量(%)を表示します。
- ⑦ この画面で設定した内容を適用します。



外部UPSのAC・バッテリー切り替えを表示する機能はありません。



UPSを取り外す場合は、UPSタイプ「None」を選択して「適用」をクリックします。その後にUSB ケーブルをNASから取り外します。



弊社ではAPC社のSmart UPS SMT500Jで動作確認を行っています。(2022年9月現在)



NASをシャットダウン・再起動したりUSBケーブルを取り外した場合は、設定が無効になるため、 再設定してください。
#### スケジュール

shutdown	シャットダウン	daily	04:00	より返し1日間	
5	タン 種3 スパ 間2 周3	スケ 倍 (ア) Shutz ジュール (8) Daily 10 11 12 1	ジュールの追加 Sowm 日	~) ~) \$)	
ŧ					

1	電力スケジュールを有効にする場合にチェックをつけます。
2	電力スケジュールを追加します。
3	電力スケジュールを編集します。
4	電力スケジュールを削除します。
(5)	電力スケジュールのリストが表示されます。
6	電力スケジュールのタスク名を入力します。
7	動作内容(シャットダウン・再起動・起動)を選択します。
8	スケジュールの種類を選択します。
9	スケジュール開始日時の詳細を選択します。
10	この画面で設定した内容を適用します。



起動・再起動とシャットダウンの間は10分以上の間隔をあけてください。



注意:NASをシャットダウン・再起動したりUSBケーブルを取り外した場合は、設定が無効になるため、再設定してください。

## ログ

## 一般設定

		一般設定 システムログ システム接続
通知設定		
通知センターに表示す	るログタイプを下から	<b>雛択します。</b>
🕑 システムログ	✓ 接続ログ	▼プリケーションログ
✓ 情報	✓ 情報	✓ 債報
✓ エラー	🕑 エラー	▼ エラー
✓ 警告	<ul> <li>警告</li> </ul>	✓ 警告
		適用

1	通知センターに表示するログの種類にチェックをつけます。
2	この画面で設定した内容を適用します。

## システムログ

通知センターに表示するログの種類にチェックをつけます。

ステム	ログ一覧		
イブ	全ログ	~ (4)	5
タイプ	目付	時間	メッセージ
0	2022/09/18	11:57:11 am	Disable Power schedule.
0	2022/09/18	11:57:07 am	Delete Power schedule Shutdown task shutdown.
0	2022/09/18	11:56:56 am	Add Power schedule, Shutdown task shutdown, Every 1 day(s), Time 4:0.
0	2022/09/18	11:56:33 am	Enable Power schedule.
0	2022/09/18	11:50:16 am	IPv4 Static Route is removed.
0	2022/09/18	11:49:59 am	IPv4 Static Route is added, Destination 192.168.100.0, Subnet Mask 255.25
0	2022/09/18	11:45:06 am	DNS setting is edited (Search path intranet).
0	2022/09/18	11:43:54 am	DNS setting is edited (Search path intranet).
0	2022/09/18	11:37:19 am	admin login from 172.16.12.212 via Web UI.
0	2022/09/18	11:37:14 am	user logout from 172.16.12.212 via Web UI.
0	2022/09/18	11:36:49 am	user login from 172.16.12.212 via Web UI.
0	2022/09/18	11:36:43 am	admin logout from 172.16.12.212 via Web UI.
0	2022/09/18	11:36:31 am	User user is created.
0	2022/09/18	11:23:25 am	admin login from 172 16 12 212 via Web UI

1	全てのシステムログを消去します。
2	全てのシステムログをクライアントへダウンロードします。
3	表示されているシステムログを更新します。
4	表示するシステムログの種類を選択します。
(5)	システムログの内容を検索します。
6	システムログの内容を表示します。
7	表示されているシステムログのページを切り替えます。

\_\_\_\_

#### システム接続

	(5)		6			
タイプとサービス	全ログ 	<ul><li>すべて</li></ul>	~		٩	
() - K&L						

- ① システム接続ログを表示するファイルサービスを選択します。
- 全てのシステム接続ログを消去します。
- ③ 全てのシステム接続ログをクライアントへダウンロードします。
- ④ 表示されているシステム接続ログを更新します。
- ⑤ 表示するシステム接続ログの種類を選択します。
- ⑥ 表示するシステム接続ログのサービスを選択します。
- ⑦ システム接続ログの内容を検索します。
- ⑧ 表示されているシステム接続ログのページを切り替えます。
- クライアントからNASへアクセスした場合に以下のログを記録します。
- ・ファイル、フォルダーの作成
- ・ファイル、フォルダーの削除
- ・書き込み
- ・読み込み
- ・ログイン
- ・ログアウト

## メンテナンス

### システム更新

ファームウェアを更新します。

	システム提新 システム出版 キシホード(エテスホード)
現在のファーム	ウェア循級
モデル名	STORAGE
バージョン	3.4.1 (build 202207280200) (1)
インストール完 了	2022/08/29
ステータス	
最新のファーム。	フェアを使用しています。
スケジュールの	2歳走 スケジュールなし <b>(2)</b>
詳細	
システムを手動で	2更新します。
手動更新	3)

- ① 現在のファームウェア情報が表示されます。
- ② 最新ファームウェアの確認スケジュールを設定します。
- ③ ファームウェアを手動で更新します。



新しいファームウェアについては弊社のWebサイトを確認してください。

https://www.yano-sl.co.jp/download/soft/index.html

#### システム回復

システムの設定情報やデータをリセットします。

	システム更新 システム国	回復 インボート/エクスボート	
工場出荷時の設定にリセット			
デバイスをリセットするには、	以下の方法を選択します		
● ネットワーク設定を工場出?	苛時の設定にリセットします。		
○ すべての設定を工場出荷時(	の設定にリセットします。 🕕		
○ すべての設定をリセットし	てからすべてのコンテンツを消去		
デバイスのリセット			
0			

システムをリセットする方法を選択します。

- ・ネットワーク情報がリセットされます。
- ① |・ストレージ・データを除く全ての設定がリセットされます。
  - ・全ての設定およびデータがリセットされます。プール(RAID)も消失します。
- システムをリセットします。



リセットする内容によっては、スナップショットを含めた全てのデータが消失します。(復元不可)

システム

### インポート/エクスポート

		システム更新	システム回復	インボート/エクスボート
構成ファイルのインス	і— К			
システムの構成ファイ	を選択します。			D
インポート 2				
提示ファイルのエクコ	-1 - L			
Merce > 7 1 10 07 1 7 7				
タイプを選択してから	エクスポート]ボ	タンをクリックして	「構成ファイルを」	ロクスポート
<ul> <li>構成</li> </ul>				
○ アカウント (3)				
○ 構成とアカウント				
エクスポート (4	)			
システム診断レポート	のエクスポート			
[エクスポート] ボタンる	クリックして、3	レステム診断レポー	トをシステムにエ	クスポートします。
エクスポート 5	)			

1	システム構成ファイルを選択します。
2	システム構成ファイルを本製品にインポートします。
3	システム構成ファイルをエクスポートする内容を選択します。
4	システム構成ファイルを本製品からエクスポートします。
(5)	トラブルの際にメーカーへ送る情報をダウンロードします。



システム構成ファイルは、ユーザー、グループ情報などを含みます。共有フォルダー内のデータや スナップショットは含まれません。

\_\_\_\_\_

# **2** ストレージ

概要



① ストレージ・プール・ボリューム構成がツリー表示されます。

## ディスク



1	本製品に接続されているディスクのスロット番号が表示されます。
2	選択したスロットのディスクの情報が表示されます。
3	選択したスロットのディスクをグローバルスペアに設定します。

- ④ 選択したスロットのディスクのランプを点滅させて、ディスクの場所を判別で きます。
- ⑤ 選択したスロットのSED対応ディスクを簡易消去します。
- 選択したスロットのSED対応ディスクをアンロックします。
- 選択したスロットのディスクをフリーディスクに設定します。
- ⑧ 選択したスロットのディスクのS.M.A.R.T.情報を表示します。



ディスクにトラブルが発生している場合、ここで詳細を確認できます。



SED対応HDD搭載モデルは2022年10月時点で販売しておりません。

## プール

・ルリスト 作成	プールの情報 ひ プールの特報	汎用		● 使用	10444.80 GB
	北張 2号化	無効		フリー	1.43 GB
Pool1	編集 アンロック エクスポート データ再編成 6	タ オン ライ ン	100%	容量	10446.23 GB
	刻除 (8) 勝川を送信	する ● 使用 100% ■	)利用可能 0%		<ul> <li>请報</li> <li>警告</li> </ul>
	ロケーション Pool1 上 RAID タイプ:1:F	AID 5 (Local host: 1 2 3 4)			
				10	
	1	■ ハイブリッドSSDキャッシュ	重複排除	専用スペアディス	7
					6

	デール た 鉱田 佐 庄 し ナ よ
$\square$	ノールを新規作成しより。
2	プールを拡張します。
3	プールを編集します。
4	プールをアンロックします。
(5)	プールをエクスポートします。
6	プールをデフラグします。
7	プールを削除します。事前にボリューム(Systemを除く)が削除されている必要 があります。
⑦ ⑧	プールを削除します。事前にボリューム(Systemを除く)が削除されている必要 があります。 プールの使用率が一定を超えた際に通知する場合にチェックをつけます。
7 8 9	プールを削除します。事前にボリューム(Systemを除く)が削除されている必要 があります。 プールの使用率が一定を超えた際に通知する場合にチェックをつけます。 ハイブリッドSSDキャッシュのメニューへ移動します。
7 8 9 10	プールを削除します。事前にボリューム(Systemを除く)が削除されている必要 があります。 プールの使用率が一定を超えた際に通知する場合にチェックをつけます。 ハイブリッドSSDキャッシュのメニューへ移動します。 スペアディスクの設定画面へ移動します。
7 8 9 10 11	プールを削除します。事前にボリューム(Systemを除く)が削除されている必要 があります。 プールの使用率が一定を超えた際に通知する場合にチェックをつけます。 ハイブリッドSSDキャッシュのメニューへ移動します。 スペアディスクの設定画面へ移動します。 項目8の設定内容を適用します。



プールのファイルシステムはZFSのみです。



プールを削除するには、先に全てのボリューム(Systemを除く)を削除する必要があります。データ量が多い場合は、ボリュームを削除してからプールを削除できるようになるまで時間がかかります。

ストレージ

## ボリューム



① ボリュームを新規作成します。
------------------

- ② ボリュームを編集します。
- ③ ボリュームを削除します。
- ④ ボリュームの使用率が一定を超えた際に通知する場合にチェックをつけます。
- ⑤ 項目4の設定内容を適用します。



ボリュームを削除するには、先に全ての共有フォルダーを削除する必要があります。データ量が 多い場合は、共有フォルダーを削除してからボリュームを削除できるようになるまで時間がかか ります。



ボリューム名に「System」を使用できません。

## 仮想ボリューム

iSCSIターゲットを作成、フォーマットします。



- ① iSCSIリモートターゲットを新規作成します。
- ② iSCSIリモートターゲットの接続・切断を行います。
- ③ iSCSIリモートターゲットの編集を行います。
- ④ iSCSIリモートターゲットのIQNを表示します。
- ⑤ iSCSIリモートターゲットを削除します。
- ⑥ iSCSIリモートターゲットをフォーマットします。

## ブロックストレージ

#### 一般設定

他のNASのiSCSIターゲットを共有フォルダーとして使用します。

门般設定				
☑ ISCSI ターゲットサービス	を有効にする			
iSCSI サービスボート	3260	2		
3) ○ iSNS を有効にする				
iSNS サーバー IP		4		

1	iSCSIターゲットを有効にする場合はにチェックをつけます。
2	iSCSIサービスポート番号を入力します。
3	iSNSを有効にする場合はにチェックをつけます。
4	iSNSサーバーのIPアドレスを入力します。
(5)	この画面で設定した内容を適用します。

ストレージ

#### セットアップ

A-Habitzh	*		
> 🕝 iscsi	編集 別除	3 3	iscsi
		IQN	iqn.2004-08.com.qsan:xn5008t-000d9b90c:iscsi.iscsi
		サービスステータス	オンライン
		認証	なし
		複数セッション	無効
		ヘッダーダイジェスト	無効
	N	データダイジェスト	無効
lun2	スナ: 援集 LUN r	ップショットを撮る <mark>5</mark> 6 napping 7	
	削除		

1	iSCSIターゲットボリュームを作成します。
2	iSCSIターゲットボリュームを編集します。
3	iSCSIターゲットボリュームを削除します。
4	iSCSIターゲットボリューム情報をON./OFFします。
(5)	マップ解除されたLUNのスナップショットを作成します。
6	マップ解除されたLUNを編集します。
1	マップ解除されたLUNをターゲットにマッピングします。
8	マップ解除されたLUNを削除します。

\_\_\_\_



事前にiSCSIターゲットのためのボリューム領域を確保する必要があります。プールを100%使用するボリュームが既に存在する場合、iSCSIターゲットボリュームを作成できません。



iSCSIターゲットボリュームは、スタックしたNAS でフォーマットしてから使用してください。

# ストレージ

## ハイブリッドSSDキャッシュ

SSDキャッシュを有効にすると、ランダムアクセスの速度や安定性が上がります。

		2 100 50 0	- % 3	1日 1週間 1ヶ月	-
スロット番号	ペンダー	モデル		容量	

1	キャッシュヒット率の表示期間を選択します。
2	キャッシュヒット率がリアルタイムで表示されます。
3	キャッシュに設定可能なSSDが表示されます。設定する場合はチェックをつけ てください。
4	キャッシュの設定を適用します。

## パフォーマンスの調整

SPLというでは、古物氏、中物氏していたものとしたたらの上のようと最近の単氏にない	
○ メディアストリーキングを有効にフースター	
メディアストリーミングブースター体、メディアストリーミングのパフォーマンスを向上させることができます有効にします。 注:マルチメディアアクセラレータを有効にすると、Windowsシステムのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。	
	(

① SSDトリムを有効にする場合にチェックをつけます。

② メディアストリーミングのブースターを有効にする場合にチェックをつけます。

③ この画面で設定した内容を適用します。



SSD が2台以上必要です。



SSD 2台搭載モデルは現時点で販売しておりません。

## **VVoL** Database

1-9217 2	データストア情報				
作成 III vvol	データストア	vvol	使用	2 MB	
	ロケーション	Pool1	フリー	1020 MB	
	タイプ	Block	容量	1022 MB	
	サービスレベル	SATA HDD			
	プロトコルのエンドポイ ント				
	3 SAT	IQN			
	1 SCSI				
	仮視ボリューム				5
	名前 名前		使用サイズ		仮想マシン
	レコードなし				
					(6) -
					適用

- ① 仮想ボリュームとして使用できるデータストア(容量枠)を作成します。
- データストアを削除します。
- ③ プロトコルのエンドポイントを表示します。
- ④ 仮想ボリュームを表示します。
- ⑤ 仮想ボリュームを削除します。
- ⑥ この画面で設定した内容を適用します。



事前に仮想ボリュームのためのボリューム領域を確保する必要があります。

# 3 ファイル共有

ユーザー

本製品へアクセスするユーザーのアカウントを作成します。

作成「インボート/エクスボート					
1-#-J2F	プロファイル		(5		
<u>□-カル (3)</u> ~ <u>▲↓</u> 💼	(4)	ユーザー名	user	<ul> <li>Web管理画面へのロク</li> </ul>	イン許可
Q、アカウントの検索		パスワード	******	パスワードの変更	<b>B</b>
1 admin		メール	オプション		
		説明	オプション		(8)
		✓ ユーザーの ダーを有対	Homeフォル 💟 こ	のユーザーを有効に 🗹	管理者の割り当て
	7+-7	9	10	Ū	) 12
	24 2 0				
	グループ				(13)
	参加1 グループ				Ø
	共有フォルダーのア	クセス権			(14
	読み取り/書き込み:	1フォルダー 読み	取り専用:0フォル!	ダー 拒否:0フォルダー	
					-
	アプリケーションの	権限			(15)
合計1ユーザー	AFP, CIFS, FTP, WebD/	AV .			(16)
					追用

1	新規ユーザーを作成します。
2	ユーザー / グループをインポート/エクスポートします。
3	表示するユーザーの種類(ローカル、AD、LDAP)を選択します。
4	ユーザーを削除します。
(5)	Web管理画面へのログインを許可するにはチェックを入れます。
6	ユーザーのパスワードを変更します。
7	ユーザーのメールアドレスを入力します。
8	ユーザーの説明(コメント)を入力します。
9	ユーザーのHOMEフォルダーの有効/無効を設定します。
10	ユーザーの有効/無効を設定します。
1	ユーザーに管理者権限を割り当てる場合にチェックをつけます。(最大4ユー ザー)
(12)	ユーザーのクォータを設定します。
(13)	ユーザーが所属するグループを設定します。
(14)	共有フォルダーに対するユーザーのアクセス権を設定します。
(15)	ファイルサービスに対するユーザーの使用権を設定します。
16	この画面で設定した内容を適用します。

МЕМО

ユーザーの最大数は2048です。また、ユーザーに以下の名前を使用できません。

root admin reset guest power

## グループ

作成 1)	
	Q, 検索
Administrator_Group	
含計 2 グループ	合計2ユーザー

① 新規グループを作成します。

② 表示するグループの種類(ローカル、AD、LDAP)を選択します。

- ③ グループを編集します。
- グループを削除します。
- ⑤ 選択したグループに所属するユーザーを表示します。



ユーザーの最大数は1024です。また、グループに以下の名前を使用できません。 Guest\_Group

## ドメインセキュリティ

## アクティブディレクトリ

Active Directory サーバーとの同期を設定します。

2 · 70 7 7 7 7 7 7 1 0 F 1		
このモードを選択して NAS をア ーが NAS にアクセスできます。	クティブディレクトリ(AD)に追加します。適切なアクセス権を持つ AD ドメインユーザーとロー	-カルユー1
○ LDAP		
このモードを選択して LDAP ディ ーとローカルユーザーが NAS に	レクトリのすべてのユーザーが NAS にアクセスできます。適切なアクセス権を持つ LDAP ドル アクセスできます。	メインユー
ドメインコントローラー名または IP	7 8 4 2	
ドメイン管理者アカウント	4	
ドメイン管理者パスワード	5	
完全修飾ドメイン名	6	
NetBIOS ドメイン名	$\bigcirc$	
アカウント同期スケジュール	手動 ~ 8	
○ UserHome フォルダを有効にす。	9 <b>9</b>	
ステータス:-	() () () () () () () () () () () () () (	
メモ		
1.DNS 設定はプライマリドメイ	ンコントローラーと同じであるか確認してください。 <u>ここ</u> .	
2.システムの時間は AD サーバ-	-と同期していることを確認してください。 <u>ここ</u> .	





別途Actieve Directory サーバー (ドメインコントローラー)が必要です。



Actieve Directoryの旧バージョンによっては正常に動作しない場合があります。

#### LDAP

LDAPサーバーとの同期を設定します。

○ アクティブディレクトリ		
このモードを選択して NAS をアクラ ザーが NAS にアクセスできます。	ィブディレクトリ(AD)に追加します。適切なアクセス特	mを持つ AD ドメインユーザーとローカルユー
LDAP		
このモードを選択して LDAP ディレ ザーとローカルユーザーが NAS に7	7 トリのすべてのユーザーが NAS にアクセスできます。 クセスできます。	適切なアクセス権を持つ LDAP ドメインユー
LDAP サーバーの IP 7 ドレス	3	
ベース DN	(4)	
管理 DN	5	
管理者パスワード	6	
ユーザーベース DN	$\bigcirc$	
グループペース DN	8	
○ UserHome フォルダを有効にする	Ð	
ステータス:-	今すぐ同期	
メモ		
1 I DAPに参加した後、あなたは か	らのWindows ACI 権限を設定することはできません	

1	ドメンセキュリティを有効にする場合にチェックをつけます。
2	LDAPを設定する場合に選択します。
3	LDAPサーバーのIPアドレスを入力します。
4	ベースDNを入力します。
(5)	管理DNを入力します。
6	管理者パスワードを入力します。
1	ユーザーベースDNを入力します。
8	グループベースDNを入力します。
9	LDAPユーザーのHOMEフォルダーを有効にする場合にチェックをつけます。
(10)	LADPサーバーの情報を今すぐに取得する場合はこのボタンを押します。
11	この画面で設定した内容を適用します。



別途LDAPサーバーが必要です。

	N CONTRACTOR OF CONTRACTOR
フォルタ	
フォルダマ・	ップ
	フォルダマップ 共有フォルダ NFSホスト Windows ネットワークホスト フォルダリンク
	フォルダ(1) (2) ユーザー グループ ローカル ~ Q 放棄
	<ul> <li>22/2</li></ul>
	test 🧟 EE user

① 共有フォルダーのアクセス権表示についてユーザー・グループを切り替えます。
 ② 表示するユーザー・グループの種類(ローカル、AD、LDAP)を選択します。

Chapter 2

#### 共有フォルダ

共有フォルダーの作成、ユーザー・グループのアクセス権を設定します。

作成設定						
フォルダーリスト	ロケーション WORM	r RAID なし				
Q、フォルダーの検: iest	編集 スナップショット WORM 別除	3 4 使用 1 合計サイズ 通通知	791 GB 9.42 TB 10.19 TB	┣━ フォル ┣━ ファイ フォルダー	レダー 12 「ル 0 構成 Exp	port 7
	= アクセス終	ユーザーが <sup>8%</sup> 使用済み	n 情報		● ■ 警告	90%
	所有者 グループの弁	admin 有者 Administrator_	v ( Group v (	8) 9)		
	アカウント	ユーザー	~ 10		Q, ユーザ-	- /グループの検
	ユーザー名	i 7	vea-	読み取り/書き	) 読み取り専用	🔵 アクセス拒否
	admin	15.	み取り/書き_ 🕕	0		
	user	7	クセス拒否			0 -

1	新規共有フォルダーを作成します。
2	共有フォルダーのアクセス権のオプションを設定します。 フォルダー詳細設定を有効にすると、サブフォルダーごとにアクセス権を設定 できます。 WindowsACLサポートを有効にすると、Windowsユーザー専用のアクセス権 を設定できます。
3	共有フォルダーを編集します。
4	共有フォルダーのスナップショットを作成します。
(5)	共有フォルダーにWORMを設定します。
6	共有フォルダーを削除します。
7	フォルダーのツリー構造(テキストファイル)をクライアントにエクスポートします。
8	共有フォルダーの所有ユーザーを選択します。
9	共有フォルダーの所有グループを選択します。
10	アクセス権を設定するユーザー・グループを切り替えます。
1	ユーザー・グループのアクセス権を設定します。
(12)	この画面で設定した内容を適用します。



WindowsACLサポートはWindowsクライアントのみに有効です。また設定が複雑であるため、通常はフォルダー詳細設定を推奨します。



WORM (Write Once Read Many)は、書込みは一度のみ、読み取りは何度でもできる機能です。一 度保存されたデータは編集・削除できません。一度設定すると解除できません。

最大同時接続クライアント数は、全ファイルサービスの合計で512です。



ごみ箱の機能はSMB/CIFS接続時のみ有効です。有効にすると、共有フォルダーから削除された データは、共有フォルダー直下の@recycleフォルダーへ移されます。



匿名ログイン(ゲスト)アクセスはSMB/CIFSのみ可能です。



「フォルダー詳細設定」と「WindowsACLサポートを有効」を両方有効にした場合、そのアクセス 権設定について非常に高度かつ複雑な知識が必要になります。



共有フォルダーに以下の名前を使用できません。 UserHome UserHomes TimeMachine Web usbshare

#### NFSホスト



1	NFSホストを追加します。
2	NFSホストを編集します。
3	NFSホストを削除します。

ファイル共有

## Windowsネットワークホスト

7	ォルダマップ 共有フォルダ NFSホスト Windows ネットワークホスト フォルダリンク	
フォルダリスト	情報	
Q、フォルダの検索	②4 フォルダ名 test117	
test	136 RH	
	ロケーション RAID	
	WORM なし	
	使用 791 GB フォルダ 12	
	8 % 利用可能 9.42 TB コアイル 0	
	Windows ネットワークホストのアクセス梅	1)?
	Windows ネットワークホストのアクセス権	(1)(2)
	Microsoft ネットワーク経由で共有フォルダにアクセスするコンピューターを指定します。	+ 🗊
	IP アドレスまたはドメインを許可する	
	*	

1	Windowsネットワークホスト(SMB/CIFS経由で本製品にアクセス可能なユーザー)を追加します。
8	Windowsネットワークホストを削除します。

## フォルダリンク

	フォルダマップ	共有フォルダ	NFS ホスト	Windows ネットワークホスト	フォルダリンク
フォルダリスト	<b>(</b> ]	2			
Q、フォルダの検索	<u><u>A</u>1 +</u>				
test	7.	レクトリ名		ホスト名	リモート共有フォルク
	L.	- F21.			

1	フォルダーのリンクを新規作成します。
2	フォルダーのリンクを削除します。

4 ネットワークサービス

## サービスバインド

	<b>Ø</b>
-	
	S
	Solution
0	
LAN1	LAN2
	0
LAN1	LAN2
	<b>S</b>
	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C

1	サー	ビスバ	バイ	ン	ドを	と有	効に	す	るち	易合に	チェ	ック	をつ	けま	す。	0
													1.11			

ネットワークのポートごとにサービスの有効・無効を選択します。

③ この画面で設定した内容を適用します。

## ファイルサービス

## CIFS

	0.1.0			
5 7 V V V V V V V V V V V V V V V V V V	Samba Server	<u>e</u>		
ワークグループ	WORKGROUP	(3)		
WINS サーバー1の I	P ア ド レ ス			
WINS サーバー2の I	P712	(4)		
(5)∩ □- カルマスタ	- ブラウザを有効にする			
	かに ナ そ (の)の 2 0 円)			
O OWD HE STORY	XII-1 © (SMB 3.0 H)			
×ŧ				
SMB 暗号化を引	写効にすると、接続性に影響を及ぼす	ことがあります。		
SMB 3.0 をサオ 網1は留かにか	ートしないクライアントはアクセス打 ります。	巨否エラーになります。SMB 陰号(	とを無効にすると、すべての [暗	号化 CIFS デー
The second second second second				

1	SMB/CIFSサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
2	サーバーの説明を入力します。
3	ワークグループ名を入力します。
4	WINSサーバーのIPアドレスを入力します。(最大2つまで)
(5)	ローカルマスターブラウズを有効にする場合にチェックをつけます。
6	SMB暗号化を有効にする場合にチェックをつけます。
7	この画面で設定した内容を適用します。

ネットワークサービス

#### AFP



① AFPサービスを有効にする場合にチェックをつけます。



ゲストアクセスには対応していません。

## NFS

	CIFS AFP	NFS FTP	WebDAV Rs	ync
10 55 H- EZ				
● NFS サービスを有効にする				
Statd ポート 662	(2	2)		
Nlockmgr ポート 33264	(	3)		
(4) NFS v4のを有効にします				
NFSv4 ドメイン		(5)		
		0		

1	NFSサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
2	Statd ポート番号を入力します。
3	Nlockmgr ポート番号を入力します。
4	NFS v4を有効にする場合にチェックをつけます。
(5)	NFS v4ドメイン名を入力します。
6	この画面で設定した内容を適用します。

ネットワークサービス

#### FTP

		0		
ロクインハナー:	Welcome to FTP server	C		
クライアント:	32	3		
接続:	32	(4)		
ログイン試行:	3	5		
タイムアウト:	1 😥 🔹 🗸	6		
最小パッシブポート:	49152	$\overline{0}$		
最大パッシブポート:	49184	8		
アップロード帯域幅 (KB/s):	0	9		
ダウンロード帯域幅 (KB/s):	0	10		
FTP ポート:	21	$\overline{1}$		
SFTP #- h:	22	(12)		
FXP を有効にする				

_	
1	FTPサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
2	ログインバナーを入力します。
3	クライアント制限数を入力します。
4	接続制限数を入力します。
(5)	ログイン試行回数を入力します。
6	タイムアウト時間を設定します。
1	最小パッシブポート番号を入力します。
8	最大パッシブポート番号を入力します。
9	アップロード帯域幅を入力します。
10	ダウンロード帯域幅を入力します。
11	FTPポート番号を入力します。
(12)	SFTPポート番号を入力します。
(13)	FXPを有効にする場合にチェックをつけます。
14)	この画面で設定した内容を適用します。



クライアントソフト(FileZillaなど)が別途必要です。



anonymousログインには対応していません。

#### WebDAV

	CIFS	AFP	NFS	FTP	WebDAV	Rsync	
ThebDAV サービス							
■ WebDAV サービスを発 WebDAV サービスを発	一動にする						
WebDAV ポート	50000		2				
WebDAVS # - b	50005		Ö				
WEDDAYS AC 1	30003		0				

- ① WebDAVサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
- ② WebDAVポート番号を入力します。
- ③ WebDAVSポート番号を入力します。
- ④ この画面で設定した内容を適用します。



クライアントソフト(CyberDuckなど)が別途必要です。



ゲストアクセスには対応していません。

#### Rsync

	CIFS	AFP	NFS	FTP	WebDAV	Rsync	
nc サービス							
no サービスを有効にすると、	システムと	リモートデパイ	ス層のデータ/	ペックアップか	できます・		
tsync y = L < 2 mix// y 0							
ポート番号		873		(2)			
最大アップロード速度 (MB/s	)	0		3			
S+ K+ 10 High (40)-		0		Ň			
MEスタッシュート活点 (MD/8	9	0		4			
							(
							(

- ① Rsync サービスを有効にする場合にチェックをつけます。
- ② Rsyncポート番号を入力します。
- ③ 最大アップロード速度(MB/s)を入力します。
- ④ 最大ダウンロード速度(MB/s)を入力します。
- ⑤ この画面で設定した内容を適用します。



リモートバックアップにはRsyncサービスが使われています。



他のNASからRsyncで接続する際のユーザー名とパスワードは、このNASの管理者ログイン名 とパスワードと同じです。

# Bonjour

e			
•	NAS Web	STORAGE	
	Samba (Server Message Block over TCP/IP)	STORAGE (CIFS)	
	AFP (Apple File Protocol over TCP/IP)	STORAGE (AFP)	
	SSH	STORAGE (SSH)	
	FTP (File Transfer Protocol)	STORAGE (FTP)	
	HTTPS (Secure web server)	STORAGE (HTTPS)	
•	SFTP	STORAGE (SFTP)	

1	Bonjourサービスを有効にする場合にチェックをつけます。
2	Bonjourを有効にするファイルサービスにチェックをつけます。
3	この画面で設定した内容を適用します。

## **TimeMachine**

#### 一般設定

macOSのユーテリティ「Time Machine」を使って、クライアントのデータを本製品へバックアップできるように設定します。

		一般設定 7	クセス権限	パックアップの管理	
) me Machine サポー	- K				
🕑 Time Machine サポ	ートを有効にする				
AFP/Bonjour +-	ビスは、Time Machine 使	用時に自動的に有	効になります	r ·	
表示名:	TimeMachine				
ポリューム	Pool1/RAID	~ (2)			
容量	0	GB v	3		
ポリュームサイズ	1043768 使田	701GB	利田司結	9646GB	
					(

- ① TimeMachineサポートを有効にする場合にチェックをつけます。
- ② TimeMachineのバックアップ先にするボリュームを選択します。
- ③ TimeMachineのバックアップ先として使用できる容量を入力します。
- ④ この画面で設定した内容を適用します。



宛先の容量が不足している場合、バックアップに失敗します。

### アクセス権

Land	0	
Local	4	
ユーザー名	(1)アクセス権限	
admin	<b>O</b>	
user		

- ① TimeMachineのバックアップ先に対してアクセスを許可するユーザーにチェッ クをつけます。
- ② この画面で設定した内容を適用します。



各バックアップ先に対して、少なくとも許可されたユーザーが1人以上必要です。
### バックアップの管理

	一般設定 アクセ	ス権限 パックアップの管理		
パックアップの管理				<b>2</b> 別除
パックアップフォルダ名	ユーザー	サイズ	日付	
レコードなし				
				-
				3
				適用

1	TimeMachineのバックアップ完了フォルダー (TOPのみ)をリスト表示します。
2	TimeMachineのバックアップ完了フォルダーを削除します。
3	この画面で設定した内容を適用します。

Chapter 2



アプリ

# ファイルマネージャー

ファイルマネージャーを使って、Webブラウザから直接データを操作できます。

8 <b>- 0</b> < >	12345677774x383+- ≡ C ▲ + L < ★ = = +	٩
マイ NAS ☆ ホーム ☆ ホーム ☆ マペモのファイル ○ Share With Me ※ ドキスント ※ ビデオ ② ビデオ ③ ビデオ ③ ごか穏 ご イカロうかド マイ クラクド ※ マクラクト ※ マクラクト ※ 第5000000000000000000000000000000000000	▲ All Files → Iset117 → 1.1.東忠写真 → (KPARD 4300C)         ● All Files → Iset117 → 1.1.東忠写真 → (KPARD 4300C)         ● So 5       5 5         ● So 5       5 5 <t< th=""><th>E pod E E CMYK pod</th></t<>	E pod E E CMYK pod
● オレンジ ● 黄	1 « <   <-= 1 /1   > »   C	12 仲中 1 - 12 を表

- ① 表示する共有フォルダーまたはファイルの種類を選択します。
- ② 表示モードを切り替えます。
- 表示内容を更新します。
- ④ ファイル・フォルダーをクライアントからアップロードします。
- ⑤ 新規フォルダーを作成します。
- ⑥ 別サーバーのリモート共有フォルダーを追加登録します。
- ホームフォルダーや共有リンクを管理または設定します。
- ⑧ 表示内容をソートします。
- 10 選択したフォルダーの内容を表示します。
- ① ページを切り替えます。



ファイルマネージャーでは、共有フォルダーの中に「/\\."?<>\*」を含む名前のサブフォルダー・ ファイルがある場合、その共有フォルダーの中身を表示できません。

# 一般事項

一般事項
Y.マートファイル転送の設定
/ スマートファイル転送のデフォルトポリシーを有効にする
データ転送中(アップロード、移動、コピー、抽出)のファイル装合に対処するためのデフォルト処理を選択し てください。 ③ 上参●
浮しファイルの閲覧
/ 隠しファイルの表示
٢
キャンセル 構設

1	ファイルマネージャーにおけるデータ転送の重複ポリシーを設定します。
2	ファイルマネージャーにおいて隠しファイル表示のON/OFFを設定します。
3	この画面で設定した内容を適用します。

# マウント/接続

マウント/接続	
CD/DVD マウント	
① 以下のユーザーに CD/DVD ISO ファイルを仮想ドライブとしてマウントを許可 ○ すべてのユーザー	
<ul> <li>管理者</li> </ul>	
リモートフォルダ _ 以下のユーザーにリモートフォルダのマウントを許可	
<ul> <li></li></ul>	
○ 管理者	
リモートサーバー	
③ 以下のユーザーにリモートサーバーのマウントを許可 ● オペイのユーザー	
<ul> <li>管理者</li> </ul>	
クラウドサービス	
④ 以下のユーザーにクラウドサービスのマウントを許可	
<ul> <li>○ 管理者</li> </ul>	
	G
	6

1	CD/DVD ISO ファイルのマウント許可を設定します。
2	リモート共有フォルダーのマウント許可を設定します。
3	リモートサーバーのマウント許可を設定します。
4	クラウドサービスのマウント許可を設定します。
(5)	この画面で設定した内容を適用します。

\_\_\_\_

# 共有リンク

	共有リンク	
以下のユーザーにファイルリンクの共有を許可 <ul> <li>すべてのユーザー</li> </ul>		
		~
		2)

1	ファイルリンクの許可を設定します。
2	この画面で設定した内容を適用します。

2 バックアップ

スナップショット

### 管理

スナップショットを使って、データを世代別でバックアップできます。

		管理	レプリカ			
フォルダおよび 1 "2"	情報					
3	RAID/test117		最終アクセスステ	- y x -		
₹~C ¥		使用	791.00GB	タイプ	Folder	
	8%	スナップショ ット	0.00GB	最大スナップショッ ト数	128	5
System/UserHome	0 /0	フリー	9646.07GB	スケジュール	無効	6 🖉
-,		容量	10437.07GB	クローン元		
	スナップショットリスト				78	s 10
			パックアップ時	8		
	No record					

1	選択した対象のスナップショットを作成します。
2	選択した対象を削除します。
3	フォルダおよびLUNリストの種類を選択します。
4	フォルダおよびLUNリストが表示されます。
(5)	スナップショット最大数と保存ポリシーを設定します。
6	スナップショットのスケジュールを設定します。
7	選択したスナップショットのクローンを作成します。
8	選択したスナップショットをロック/ロック解除します。
9	選択したスナップショットをロールバック(復元)します。
10	選択したスナップショットを削除します。

### レプリカ

スナップショットをリモート先にもバックアップできます。

保存先の適加		管理	レプリカ			
\$-+y FUZ F (2) (3)	タフクを追加して T(4)す。 適加	「バックアップソー	スとターゲットログ	ァーションを指定し	5 6 (	7 8 9 * 1
Local	タスク含 100:cord	タイプ	ν− <b>λ(</b> □−_	Destination(	スケジュール	ステータス
● オンライン ● オフライン						

1	レプリカの保存先を追加します。
2	レプリカの保存先を編集します。
3	レプリカの保存先を削除します。
4	新規タスクを追加します。
(5)	タスクを開始します。
6	タスクのスケジュールを編集します。
7	タスクのオプションを設定します。
8	タスクを削除します。
9	タスクの開始・完了ログを表示します。
(10)	作成したタスクが表示されます。

## リモートバックアップ

共有フォルダーのデータをリモートの宛先(他のNAS)へネットワーク経由でバックアップします。

	backup のタスク タフクを適加して	リスト パックアップソースとター	ゲットロケーションを打	龍定します。タスクの	
-	道加				
	100 x 2 4	ソース(ローカル	パックアップ先 <b>(</b>	スケジュール	ステータス
backup	backup	RAID/test/1_1	➡ share/test	無効	進備完了
● オンライン					
- オフライン					

1	リモートバックアップの保存先を追加します。
2	リモートバックアップの保存先を編集します。
3	リモートバックアップの保存先を削除します。
4	新規タスクを追加します。
(5)	タスクを開始します。
6	タスクのスケジュールを編集します。
7	タスクのオプションを設定します。
8	タスクを削除します。
9	タスクの開始・完了ログを表示します。
10	作成したタスクが表示されます。

Chapter 3

### クラウドバックアップ

共有フォルダーのデータをAmazonS3などのクラウドへネットワーク経由でバックアップします。



1	新規タスクを追加します。
2	タスクを開始します。
3	タスクのスケジュールを編集します。
4	タスクを削除します。
(5)	タスクのオプションを設定します。
6	作成したタスクが表示されます。
・ 事i	前にクラウドサービスのWeb サイトでアカウントを登録する必要があります。

<u>入</u>注意

また、コンソール画面にサインインして新規ユーザーと権限を設定しておく必要があります。

- ・クラウドサービスは有料です。(無料利用枠、キャンペーン期間内の無料枠を除く)
- ・クラウドサービスのアカウント登録にはお客様のクレジットカード情報の登録が必要です。
- ・クラウドサービスのアカウント登録や使用方法については、対象クラウドサービス会社へお問い合わせください。

```
Amazon S3
http://aws.amazon.com/jp/s3/
Hicloud S3
https://www.hicloud.hinet.net/hicloud_s3_about_en.html
Alibaba cloud
https://www.alibaba.co.jp/service/alibabacloud/
```

- クラウドサービスに関してお客様がデータ消失等による損害を被った場合、弊社は責任を負い かねます。
- ・本製品がインターネットに接続されている必要があります。
- ・中身の無いフォルダーをバックアップできない場合があります。
- ・ACL情報をバックアップできない場合があります。

### X-Mirror

 ①
 RBソーンを追加します。

複数のNR4300Cシリーズ間で共有フォルダー単位で同期します。

### USBバックアップ

本製品に接続したUSBデバイスへデータをバックアップします。



1	USBバックアップを有効にする場合にチェックをつけます。
2	タスク完了時にアラームを鳴らす場合はチェックをつけます。
3	バックアップ方向を選択します。
4	新規タスクを追加します。
(5)	タスクのスケジュールを編集します。
6	タスクを削除します。
7	タスクの開始・完了ログを表示します。
8	作成したタスクが表示されます。
9	項目1、2で設定した内容を適用します。



バックアップの対象となるのは本体前面のUSB3.0ポートに接続したデバイスのみです。



NTFSフォーマットのUSBデバイスに対応しています。



USBバックアップは当日作成・変更したデータをUSB与NASでバックアップするのに適してい ます。大量のデータのバックアップにはリモートバックアップもしくはスナップショットをお使 いください。

# ログ

バックアップに関するログを表示します。

A		0.01.020	at a star of	
917	Service	01921838	>>==>	
(15)ecord				
		« <   0 / 0	> »	

1	通知センターに表示する場合はチェックをつけます。
2	表示するバックアップログの種類を選択します。
3	全てのバックアップログを削除します。
4	全てのバックアップログをクライアントへダウンロードします。
(5)	バックアップログを表示します。
6	項目1で設定した内容を適用します。



### リソース

CPUやメモリー、データなどの使用状況をモニタリングできます。



モニターの内容を記録、保存する機能はありません。

CPU

СРИ	メモリー ストレー	-ジ プール	プロセス		
▶ ダッシュボードの追加					
5用(%)					100
C					80
					40
				$\rightarrow \sim \sim$	20
				/	
al® 4 apro Processor				-	0
el® 4 core Processor					0
el® 4 core Processor					0
el® 4 core Processor					0
tel® 4 core Processor					0
tel® 4 core Processor					0
tel® 4 core Processor					0
let8 4 core Processor					0

1	ダッシュボードに追加する場合にチェックをつけます。
2	CPUの使用状況を0~100%で表示します。

### メモリー

(2)			10	00
			6	0
			2	10 D
柳垣メモリ ■ 3.03	GB (83.99%) / 3.61 GB			

\_

### ストレージ



1	ダッシュボードに追加する場合にチェックをつけます。
2	プールとボリュームを選択します。
3	共有フォルダーごとの使用状況を表示します。
4	ボリュームの使用状況を0~100%で表示します。

# Chapter 3

### プール

D弾択 Pool1 プット (MB/s)		2				2.0	
						16	
						1.2 0.8 0.4	
読み取り	0 KB/s		書き込み	828 KB/s		- 0.0	
	読み取り	読み取り OKR/s	読み取り 0KB/s 4	読み取り OKE(A 🔶 置き込み	読み数 y O KE/s 全 記A・ R25 KE/s	調本数 Y ОХД/A 全 В В В А В 22 КЦ/A	0.4 да жа у окала Сала Сала Сала Сала Сала Сала Сала

- ① ダッシュボードに追加する場合にチェックをつけます。
- プールを選択します。
- ③ プールのスループット(MB/s)を表示します。

### プロセス

	CPU メモリー	- ストレージ プー	ル プロセス	
ロセス		1 9. 11	素プロセス名	
プロセス名	CPU 使用状況 (%)	メモリ使用状況 (KB)	PID	ユーザー
zqueryd	2%	84568	12373	admin
cgrulesengd	2%	13752	3542	admin
python	0%	492544	5956	admin
smbd	0%	316416	4699	admin
winbindd	0%	296960	4960	admin
nmbd	0%	235520	4694	admin
httpd	0%	147456	5593	admin
wfindd	0%	102400	13199	admin
qlogd	0%	94568	13930	admin
qbuzzerd	0%	93584	14706	admin
qunreadlogd	0%	88456	13988	admin
php-fpm	0%	87016	24025	admin
hwemond	0%	84568	12906	admin
bgtask_updd	0%	84568	11864	admin
isnacd	0%	84568	12041	admin
nd undate	0%	84568	1600	admin

1	検索するプロセスを入力します。
2	プロセスの使用状況を表示します。

#### ハードウェア ハードウェア情報 🚺 🗹 ダッシュボードの追加 C タイプ タイブ システム名 モデル シフトム線動筒 シフトム線動筒 ファームウッエアのパージョン タイムゾーン システムの正常性 ビジースロット1 ファン1 速度 I STORAGE アイテム CPU core 0 45.0 / 113.0 CPU core 1 45.0 / 113.0 CPU core 2 45.0 / 113.0 CPU core 3 45.0 / 113.0 Platform thermal 48.0 / 118.4 Ambient thermal 38.0 / 100.4 Backplane thermal 32.0/89.6 Disk 1 40.0 / 104.0 + Disk 2 37.0/98.6

- ① ダッシュボードに追加する場合にチェックをつけます。
- ② ハードウェアの種類を選択します。
- ③ ハードウェアの情報が表示されます。

# サービス

<ul> <li>OFS 445, 139</li> <li>WebCAV(s) 50000, 50005</li> <li>Apple Time Machine 548</li> <li>Rsync 573</li> <li>NrS 662, 35264</li> <li>AFP 548</li> <li>FTP(s) 21, 22</li> <li>dSCS1 target service 2260</li> <li>DDNS 2</li> </ul>			
<ul> <li>WebAV(s)</li> <li>S000, 50005</li> <li>Apple Time Machine</li> <li>S48</li> <li>Ryno</li> <li>RYS</li> <li>642, 33264</li> <li>AFP</li> <li>548</li> <li>71%</li> <li>15CS target service</li> <li>2260</li> <li>DDAS</li> <li>-</li> </ul>	•	CIFS	445, 139
● Appl Time Machine 548 ● Raync 573 ● NF3 662,33264 ● AFP 548 ● FP(•) 71,22 ● JDCSI target service 2260 ● DDNS • ● 東行中 ● 伊止 ● 東朝	•	WebDAV(s)	50000, 50005
● Rync 873 ● NFS 662,33264 ● AFP 548 ● FTP(s) 21,22 ● diCSI target service 2260 ● DDNS • ・ ● 東行中 ● 停止 ● 東3	•	Apple Time Machine	548
● NFS 662,33264 ● AFP 548 ● FFP(s) 21,22 ● ISCSI target service 2269 ● DDNS - ● 東行中 ● 停止 ● 第4	•	Rsync	873
● AFP 548 ● FP(6) 21,22 ● (SCS target service 2269 ● DDNS • で作止 ● 異な	•	NFS	662, 33264
● FTP(s) 21,22 ● 成公S target service 2250 ● DDNS ・ ● 実行中 ● 停止 ● 真3	•	AFP	548
● (BCSI target service 2269 ● DDNS: - ● 東行中 ● 停止 ● 真和	•	FTP(s)	21, 22
● DDNS · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	iSCSI target service	3260
● 実行中 ● 停止 ● 異味	•	DDNS	
			● 栗竹中 ● 停止 ● 異常

① ファイルサービスの稼働状況を表示します。

ネットワーク		
● トワーク 協校 ● ダッシュポードの注加 ■ LAN1 ■ LAN2	インターフェイ IP アドレス 172.16.100.117 Ipe ヴァドレス - MAO アドレス 001378.06.49.E2 マグメットマス 255.255.00	
LANT (MB(s)	03 02	
■ ●版中 0.00 M8	0.1 ▲ BK集中 0.000MB ● 建航界了 ● 初新代了	

- ① ダッシュボードに追加する場合にチェックをつけます。
- ② ネットワークインターフェイスを選択します。
- ③ ネットワークの使用状況を表示します。



### メディアライブラリ

本製品に保存されている画像、動画、音楽などのメディアファイルを一括管理できます。



- メディアライブラリを有効にする場合にチェックをつけます。
   メディアライブラリのインデックスを再構築します。
- ③ 項目1で設定した内容を適用します。

# ログ

Action		Message	
()	2022/09/18 14:59:16	Activate media library.	

ログを全て消去します。
 ログを全てクライアントへダウンロードします。
 通知センターに表示する場合にチェックをつけます。
 表示したいログの種類を選択します。
 項目3で設定した内容を適用します。

### 概要

本製品をVPNサーバーとして使用できます。

128-	-フェイス	LAN1		
WAN IF	アドレス	211.127.226.82		
- 4 7				
~ ~				
754	アントは、クライアント	IP プールの VPN IP アドレスが割り当	てられます。VPN 接続が確立	された後は、システムのサーバーア
クライ スでデ- クライ	アントは、クライアント -タにアクセスできます アントが対応ポート経由	IP プールの VPN IP アドレスが割り当 。 でシステムに接続できることを確認し	てられます。VPN 接続が確立 てください。	された後は、システムのサーバーフ
クライ スでデー クライ	アントは、クライアント -タにアクセスできます アントが対応ポート経由 プロトコル	IP ブールの VPN IP アドレスが創り当 。 でシステムに接続できることを確認し クライアント IP ブール	てられます。VPN 接続が確立 てください。 サーバーアドレス	された後は、システムのサーバーフ ポート番号
クライ スでデ- クライ テー	アントは、クライアント -タにアクセスできます アントが対応ポート経由 プロトコル PPTP	IP プールの VPN IP アドレスが割り当 でシステムに接続できることを確認し クライアント IP プール 10:1.0.2 - 254	てられます。VPN 接続が確立 てください。 サーバーアドレス 10.1.0.1	された後は、システムのサーバーア ポート番号 TCP 1723
クライ スでデ- クライ 	アントは、クライアント -タにアクセスできます アントが対応ポート経由 プロトコル PPTP L2TP/IPsec	P プールの VPN IP アドレスが割り当 。 でシステムに接続できることを確認し クライアント IP プール 10.1.0.2 - 254 10.2.0.2 - 254	てられます。VPN 接続が確立 てください。 サーバーアドレス 10.1.0.1 10.2.0.1	された後は、システムのサーバーア ポート番号 TCP 1723 UDP 500,4500,1701

① 本製品にVPNで接続するためのIPやステータスを表示します。



一般的なVPN サーバーを構築できる知識が必要です。

### PPTP

Image: Contract Open Prime		8070 107	7/17 0 1/74
(1)       PPTP VPN サーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         (2)       VPN クライアントのIP プールを入力します。         (3)       最大クライアント数を入力します。         (4)       認証形式を選択します。         (5)       暗号化形式を選択します。         (6)       マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し		PPTP 121	P/IPsec OpenVPN
<ul> <li></li></ul>		PPTP VPN サーバーを有効にする	
#x79472>##       ③ s         #EE       ④ MECHAPA         #96:       ⑤ FALES 40/12 ± 2 + 5)         (************************************		VPN クライアント IP プール (2) 10,1,0	. 2-254
第日       ④ MECHAPA         第日       ⑤ P(ABS 40178 ± 2 + 5)         ③ PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ②       VPNクライアントのIPプールを入力します。         ③ 最大クライアント数を入力します。         ④ 認証形式を選択します。         ⑤ 暗号化形式を選択します。         ⑥         ⑥         ⑦         ○		- 最大クライアント番号 35 V	
<ul> <li>■Pft: ⑤ (# ABE #ATZE 2× )) ●</li> <li>③ (* ABE #ATZE 2× )) ●</li> <li>③ (* **********************************</li></ul>		認証 ④ MS-CHAPV2	Y
① PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ①         ②         WPNクライアントのIPプールを入力します。         ③         最大クライアント数を入力します。         ④         認証形式を選択します。         ⑤         暗号化形式を選択します。         ⑥         マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力します。		讀号化 <b>5</b> 中 (AES 40/128 ピッ	( h) v
①       PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ②       VPNクライアントのIPプールを入力します。         ③       最大クライアント数を入力します。         ④       認証形式を選択します。         ⑤       暗号化形式を選択します。         ⑥       マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し		<ul> <li>マニュアル DNS の使用</li> <li>6</li> <li>0</li> <li>0</li> </ul>	. 0
①       PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ②       VPNクライアントのIPプールを入力します。         ③       最大クライアント数を入力します。         ④       認証形式を選択します。         ⑤       暗号化形式を選択します。         ⑥       マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し			
①       PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ②       VPNクライアントのIPプールを入力します。         ③       最大クライアント数を入力します。         ④       認証形式を選択します。         ⑤       暗号化形式を選択します。         ⑥       マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し			
①       PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ②       VPNクライアントのIPプールを入力します。         ③       最大クライアント数を入力します。         ④       認証形式を選択します。         ⑤       暗号化形式を選択します。         ⑥       マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し			
①       PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ①       VPNクライアントのIPプールを入力します。         ③       最大クライアント数を入力します。         ④       認証形式を選択します。         ⑤       暗号化形式を選択します。         ⑥       マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し			
⑦         ①       PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ②       VPNクライアントのIPプールを入力します。         ③       最大クライアント数を入力します。         ④       認証形式を選択します。         ⑤       暗号化形式を選択します。         ⑥       マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し			
①       PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。         ②       VPNクライアントのIPプールを入力します。         ③       最大クライアント数を入力します。         ④       認証形式を選択します。         ⑤       暗号化形式を選択します。         ⑥       マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し			$\overline{\mathcal{D}}$
<ol> <li>PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。</li> <li>VPNクライアントのIPプールを入力します。</li> <li>最大クライアント数を入力します。</li> <li>認証形式を選択します。</li> <li>暗号化形式を選択します。</li> <li>マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し</li> </ol>			進用
<ol> <li>PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。</li> <li>VPNクライアントのIPプールを入力します。</li> <li>最大クライアント数を入力します。</li> <li>認証形式を選択します。</li> <li>暗号化形式を選択します。</li> <li>マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し</li> </ol>			
<ol> <li>PPTP VPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。</li> <li>VPNクライアントのIPプールを入力します。</li> <li>最大クライアント数を入力します。</li> <li>認証形式を選択します。</li> <li>暗号化形式を選択します。</li> <li>マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し</li> </ol>			
<ul> <li>② VPNクライアントのIPプールを入力します。</li> <li>③ 最大クライアント数を入力します。</li> <li>④ 認証形式を選択します。</li> <li>⑤ 暗号化形式を選択します。</li> <li>⑥ マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し</li> </ul>	(1)	PPTP VPNサーバーを有効にする	場合にチェックをつけます。
<ul> <li>③ 最大クライアント数を入力します。</li> <li>④ 認証形式を選択します。</li> <li>⑤ 暗号化形式を選択します。</li> <li>⑥ マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し</li> </ul>	2	VPNクライアントのIPプールを入	力します。
<ul> <li>④ 認証形式を選択します。</li> <li>⑤ 暗号化形式を選択します。</li> <li>⑥ マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し</li> </ul>	3	最大クライアント数を入力します。	)
⑥ 暗号化形式を選択します。         ⑥ マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し	(4)	認証形式を選択します。	
<ul> <li>(5) 暗号化形式を選択します。</li> <li>マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し</li> </ul>			
マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し	(5)	暗号化形式を選択します。	
	(6)	マニュアルDNSを使用する場合は	、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し
	0	ます。	
⑦ この画面で設定した内容を適用します。	7	この画面で設定した内容を適用し	ます。

VPNサーバー

### L2TP/IPsec

	PPTP L2TP/IPsec OpenVPN
P/IPsec	
2TP/IPsec VPN サーバーを有効	コにする
VPN クライアント IP プール	2 10 2 0 2-254
最大クライアント番号	3 5 -
認証	A MS-CHAPV2
暗号化	(5) ∉ (AES 128 ビット) ✓
○ マニュアル DNS の使用	
IKE 認証	·
車前共有キー	(デフォルト共有キー: 1234)
車前共有キーの確認	8
	(9)
	通用

1	L2TP/IPsecサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。
2	VPNクライアントのIPプールを入力します。
3	最大クライアント数を入力します。
4	認証形式を選択します。
(5)	暗号化形式を選択します。
6	マニュアルDNSを使用する場合は、チェックをつけてそのIPアドレスを入力し ます。
7	IKE認証の事前共有キーを入力します。
8	IKE認証の事前共有キーを再入力します。
9	この画面で設定した内容を適用します。

### OpneVPN

	PPTP L2TF/IPsec OpenVPN
	OpenVPN ② OpenVPN サーバーを有効にする
	VPN クライアント IP ブール (2) 10 .3 .0 .2254
	- 最大クライアント番号 35 V
	VPN #-/-#-+ 4 UDP v 1194
	贈号化 (5) 中(AES 128 ビット) ✓
	(8) ダ オペでのクライアントトラフィックを VPN サーバー経由にする
	- エクスポート脱空
	9
	超用
1	OpneVPNサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。
2	VPNクライアントのIPプールを入力します。
3	最大クライアント数を入力します。
4	VPNサーバーポートを選択・入力します。
(5)	暗号化形式を選択します。
(6)	マーユアルDNSを使用する場合は、デェックをつけてそのIPアトレスを入力し
0	ます。
1	転送中のデータを圧縮する場合にチェックをつけます。
	全てのクライントトラフィックをVPNサーバー経中にする場合にチェックを
8	$\begin{bmatrix} \Sigma \langle \psi \rangle / \psi \rangle = \left[ - \frac{1}{2} \right] / \left[ \frac{1}{$
	· ンリより。
9	この画面で設定した内容を適用します。

Chapter 3

# アカウント



1	VPNサーバーにユーザーアカウントを追加します。
2	VPNサーバーのユーザーアカウントを削除します。
3	追加されたVPNアカウントを表示します。

# 接続リスト

イン時間 接続時間	1977FU2	割り雪てられた V	<u><u>v</u>-ex</u>

1	VPNサーバーの接続リストを更新します。
2	ダッシュボードに追加する場合にチェックをつけます。
3	接続リストに表示されているユーザーを切断します。
4	VPNサーバーに接続されているユーザーをリスト表示します。

# ログ

2.17 E	8-に表示します		
サービス	すべて	~ <b>(4</b> )	
(F)Type		日付/時刻	イベント
0	Other	2022/09/18 03:05:22 pm	User user permission is set to service PPTP.
0	PPTP	2022/09/18 03:05:16 pm	Enable PPTP VPN server.
		≪ <  [1	/1   > >>

1	VPNサーバーのログを全て消去します。
2	VPNサーバーのログを更新します。
3	通知センターに表示する場合にチェックをつけます。
4	ログを表示するVPNサービスの種類を選択します。
5	VPNサーバーのログが表示されます。

# 6 ウィルス対策

### 概要

アンチウイルスソフトを使用できます。



1	ウィルス対策を有効にする場合にチェックをつけます。
---	---------------------------

- ② 全てのフォルダー・ファイルをスキャンします。
- ③ 選択したフォルダー・ファイルとその中身をスキャンします。
- ④ システムボリュームをスキャンします。
- ⑤ 項目1で設定した内容を適用します。

# ホワイトリスト

8⊖⊕ < >				ウィルス対策				
	概要	ホワイトリスト	枝瓷	スケジュール	レポート	詳細設定	07	(1)
ホワイトリスト								+
3) 7112		タイプ				11A		
レコードなし								
				0 /0	> >>			

ホワイトリストへ追加します。
 選択したファイルをホワイトリストから削除します。
 ホワイトリストを表示します。

### 検疫



- ① 検疫リストのファイルを共有フォルダーへ戻します。
- ② 選択したファイルを検疫リストから削除します。
- ③ 検疫リストを表示します。

# スケジュール

⊇ € < >			ウィルス対策					
	概要ホ	フイトリスト 検疫	スケジュール	レポート	詳細設定	07	(1) (	2) (3)
キャンタスクリスト							+	1
スキャン名	最終スキャン	スキャンスケジュ・	- <i>I</i> L		汚染ファイ	ルの合計	ステータス	
ドなし								
				× ×				
		« (	0 /0	1 11				

1	スキャンのスケジュールを作成します。
2	スキャンのスケジュールを編集します。
3	スキャンのスケジュールを削除します。

レポー	ト
-----	---

3 <b>-</b> 0 <>					ウィルス対策				
(1)	(2)	概要ホワ	( FUZ F	検疫	スケジュール	レポート	詳細設定	87	
すべてクリア す	ペてダウンロー	· R							
スキャンタスクレス	ポートリスト								
レポートを継続する	10日	3							2
日付と時刻		スケジュール		メッセー	9				
			«	< 1	/0	>			(5)
									適用

1	スキャン結果のレポートを全て消去します。
2	スキャン結果のレポートを全てダウンロードします。
3	レポートの継続期間を選択します。
4	スキャン結果のレポートを表示します。
(5)	項目3で設定した内容を適用します。
### 詳細設定

	トリスト 検疫	スケジュール	レポート 詳	細酸定 口グ	
<ul> <li>○ マイルスのレポートのみ</li> <li>▶ ルスデータベースの更新</li> <li>● ロシアドメートの</li> </ul>					
) 日朝史朝を刊刻し- 9 で 予範更新 (*.ovd) から更新をダウンロードしてください www.clamav.net	更新	ステータス			

1	スキャンするファイルの最大サイズを入力します。
2	圧縮ファイルをスキャンする場合はチェックをつけて最大サイズを入力しま す。
3	書類ファイルの詳細スキャンを行う場合はチェックをつけます。
4	感染ファイルに対する処置方法を選択します。
(5)	ウィルスデータベースを自動更新する場合はチェックをつけます。
6	ウィルスデータベースを手動更新する場合、データベースファイルを選択して 更新ボタンをクリックします。

## ログ

000	< >	ウィルス対策
1	2 *	要 ホワイトリスト 検疫 スケジュール レポート 詳細設定 ログ
すべてクリ	ア すべてダウンロード	
57		
<ul> <li>通知せ:</li> </ul>	ンターに表示します	
タイプ	すべてのタイプ 💙	( <b>4</b> )
5 17	日付と時刻	メッセージ
(i)	2022/09/18 15:07:03	Virus database update is failed.
	2022/09/18 15:06:23	Virus database update is started.
٢	2022/09/18 15:06:23	Enable automatic updates.
()	2022/09/18 15:06:20	Enable Antivirus
		≪ <   1 /1   > ≫

1	ウィルス対策のログを全て消去します。
2	ウィルス対策のログを全てダウンロードします。
3	通知センターに表示する場合にチェックをつけます。
4	表示するログの種類を選択します。
5	ウィルス対策のログを表示します。

# 7 SQLサーバー

本製品をSQLサーバーとして使用できます。

	SQL +	
SOL # = 15 = - MariaDB 10.2.16		
QLサーバーをウェブベースのデータベースとして有効にします。		
SQL サーバーを有効にする		
ポート番号 3306 (2)		
③ phpMyAdmin を有効にする		
メンテナンス		
ウェブベースのデータベースを再初期化します。		
再初期化		
<b>(4)</b>		
0		
		(5)
		**

- ① SQLサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。
- ② SQLサーバーのポート番号を入力します。
- ③ phpMyAdminを有効にする場合にチェックをつけます。
- ④ Webサイトのデータベースを再初期化します。
- ⑤ この画面で設定した内容を適用します。



一般的なSQLサーバーを構築できる知識が必要です。

SQLサーバー



·般設定

本製品をWebサーバーとして使用できます。

	一般稳定 使提志 PHP	
	BUSICE BUSICES IN THE	
) <sup></sup>		
✓ ウェブサーバーを有対	ī¢δ	
ポート番号	80 (2)	
(3) HTTPS セキュリ	ィで保護された接続を有効にする	
ポート番号	443	
C	3443	
(5) 個人用ウェブサー 以下のリンクか http://172.16.10	<b>×43</b> を教物にする ユーザーの個人用ウェブサイトにアクセスできます。 11750/-Username	
<ul> <li>個人用ウェブサー 以下のリンクか http://172.16.10</li> <li>日 MSTS を有効にす</li> </ul>	<b>冬春</b> 冬春間に下る ーグーの低人用ウェブサイトにアクセスできます。 117580/-Username	
<ul> <li>個人用ウェブサー 以下のリンクか http://172.16.10</li> <li>HSTS を有効にす HSTS を有効にす</li> </ul>	243 を教物にする ユーザーの個人用ウェブサイトにアクセスできます。 117 80V-Username らと、ウェブブラウザがセキュリティで保護された道路を使用するよう強能されます。	
<ul> <li>(1) 個人用ウェブサー以下のリンクか http://172.16.10</li> <li>(6) HSTSを有効にす HSTSを有効にす</li> </ul>	243 を豊勢にする ユーザーの個人用ウェブサイトにアクセスできます。 117.80/−Username 6 6と、ウェブブラウザがセキュリティで保護された漫談を使用するよう強制されます。	
<ul> <li>(5) ○ 個人用ウェブサー以下のリンクか 以下のリンクか http://172.16.10</li> <li>(6) ○ HSTS を有効にす HSTS を有効に</li> </ul>	<b>冬春的にする</b> ーダーの個人用ウェブサイトにアクセスできます。 11780/-Username 。 6と、ウェブブラウザがセキュリティで信道された御師を使用するよう強制されます。	

- ① Webサーバーを有効にする場合にチェックをつけます。
- ② Webサーバーのポート番号を入力します。
- ③ HTTPSセキュリティで保護された接続を有効にする場合にチェックをつけます。
- ④ HTTPSのポート番号を入力します。
- ⑤ 個人用Webサイトを有効にする場合にチェックをつけます。
- ⑥ HSTSを有効にする場合にチェックをつけます。
- ⑦ この画面で設定した内容を適用します。

一般的なWebサーバーを構築できる知識が必要です。



## 仮想ホスト

800		ウェブサーバー		
	—般#	定 仮想ホスト PHP		
仮想ホスト				
ウェブ「共有フォルダ」の下のディ	レクトリにウェブファイルをアップロー	ドしてウェブサイトを作成できます。		
(1) モ:必ずウェブサーバーを有効に	してから仮想ホストを有効にしてくださ	u •		
☑ 仮想ホストを有効にする				34
+ 2				
ディレクトリ名	ホスト名	プロトコル	<i>π</i> t− ト	
(5) - KaL				
				6
				適用

1	仮想ホストを有効にする場合にチェックをつけます。
2	仮想ホストを新規作成します。
3	仮想ホストを編集します。
4	仮想ホストを削除します。
(5)	作成した仮想ホストを表示します。
6	項目1で設定した内容を適用します。

## PHP



1	PHP.ini をアップロードします。
2	PHP.ini を編集します。
3	PHP.ini を復元します。
4	この画面で設定した内容を適用します。

## サポートとサービスのご案内

### カスタマーサポートとWebサイトのご案内

本書を参照してもトラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは 弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、本製 品の背面にある「製品型番」と「シリアル番号」をご用意の上、下記宛てにご連絡ください。 また、以下の内容をお知らせいただくと早期解決につながります。

- ・本体ファームウェアのバージョン
- ・障害の発生状況および発生したタイミング
- ・バックアップデータの有無

弊社Webサイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバーソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

本製品が故障した場合のデータ復旧サービスは保証期間内であっても有 償です。また、必ずデータ復旧ができるとは限りません。データのバック アップは複数の方法でこまめに行うようにしてください。

#### カスタマーサポート専用回線

Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983 月曜日~金曜日 午前9:30~12:00 午後1:00~5:00

※カスタマーサポートの専用回線が混み合っている場合は、しばらく経ってからおかけ直しください。

### Web : www.yano-sl.co.jp E-Mail : info@yano-sl.co.jp

ヤノ販売株式会社 〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. (078) 646-7303

### 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T対応NAS RAID装置 N-RAID 4300C series リファレンスマニュアル

2022年9月11日 第1版発行

発行所

ヤノ販売株式会社 〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F

本書の一部あるいは全部についても、弊社から文書による許諾を得ずに、いかなる方法におい ても無断で複写、複製することは禁じられています。 本マニュアルに掲載された製品の仕様等は予告なく変更することがあります。

Apple, Macは米国アップル社の登録商標です。 Microsoft, Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。 その他、本マニュアルに記載された会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

